

特249

296

昭和二年
教祖御生誕

天理教年譜表

地場思潮社發行



始



特249
296



皇紀	年號	天皇	西曆	本 教 史 實	御 教 前 御 歲	世 界 の 重 大 事 項
2458	寬 成 10	光 格	1798	四月十八日山邊郡三昧田村ニ御誕生 父ハ前川半七正信母ヲきぬト云フ (幼名るゐト云ヒシト云フ)	1 歲	近藤重藏擧揚島ニ標柱ヲ立ツ 五月ナポレオンノエジプト征伐 七月アレクサンドリアニ入ル 八月一日アブキールノ海戦ニル ソソク佛艦隊ヲナイール河口ニ擊滅ス
2459	未 己 11		1799		2 歲	第二次對佛大同盟戦争。フランス再ビ、ロシア、オーストリア、イギリス、ポルトガル、ナポレオン聯合軍ト戦フ。ワシントンニ死ス
2460	庚 辰 12		1800		3 歲	六月マレンゴノ戦。ナポレオンオーストリア軍ヲ破ル。四月伊能忠敬ニ蝦夷地等ノ實測ヲ命ズ
2461	和 享 西 辛		1801	三歲迄子守ノ世話ヲ受ケ四歲ヨリ母ノ膝下ニテ種々ノ教養ヲ受ケサセラル	4 歲	九月本居宣長歿ス
2462	成 壬		1802		5 歲	八月二日ナポレオン終身大統領トナル。五月蝦夷奉行ヲ前鋒奉 行ト改ム
2463	亥 癸 3		1803		6 歲	アメリカ合衆國佛國ヨリイジヤナヲ購フ。十月蘭醫前野真澄歿ス。十一月佐波ノ地大震ス。此頃加藤民吉瀬戸燒ヲ始ム

天 理 教 年 譜 表

自教祖御生誕
至昭和二年

序

△正しい教理は、正しい史實に求めなければなりません。然し其の正しい史實の研究は、何もの、研究にも増して、至難中の至難事である。斯の意味に於て我等は、本教に於て未だ曾つて一冊も慙ふした書物を手に入れる事は出来なかつた。之れが其の第一書である。

△此の書に載するところ、決して間違つては居ないと期しては居るが、果してどうであるか

△當時の社會事情を知る御参考にもと思つて、我が國及朝鮮支那歐米の重大事項を調べあげました。

△未だ御發表なりません上から、大行天皇を分り易く、先帝と記しておきました

2481	2480	2479	2478	2477	2476	2475	2474	2473	2472
4	3	2	政文	14	13	1 2	1 1	10	9
巳辛	辰庚	卯己	寅戊	丑丁	子丙	亥乙	戌甲	酉癸	申壬
孝 仁					格 光				
1821	1820	1819	1818	1817	1816	1815	1814	1813	1812
姑御病氣ニ付敬祖時々御身重ナルニ關ラズ背ニ負ヒ奉リ親シキ家ナド御望ミニナルマ、ニ連レ歩キ給ヒテ孝養忘リナシ 七月廿四日善右衛門(後秀司ト改ム)殿御誕生	六月十一日舅御善右衛門殿歿セラル				舊二月勾田村善福寺ニテ五重相傳ヲ受ケ給フ			一家ノ主婦トナリ給フ、家事萬端缺クル所ナク又孝養忘リナカリシカバ兩親殊ニ満足セラル	改メテ婚姻式ヲ舉ゲ給フ(一説ニ二月十八日トアリ)
24歳	23歳	22歳	21歳	20歳	19歳	18歳	17歳	16歳	15歳
四月伊能忠敬歿ス 九月堀保己一歿ス 五月五日ナポレオン死ス			五月英船浦賀ニ來ル	四月杉田玄白歿ス	ドイツ聯邦議會ノ開會	二月二十六日ナポレオン、エルバ島ヲ脱ス。六月十八日ワーテルローノ戰。ナポレオン、セントヘレナ島ニ流サル	三月三十一日バリー陥落、ナポレオン讓位。エルバ島ニ流サル英人スチブソン汽車ヲ發明ス	七月蒲生君平歿ス。歐洲列國聯合シテナポレオンニ抗ス	ナポレオンノロシヤ征伐

2471	2470	2469	2468	2467	2466	2465	2464
8	7	6	5	4	3	2	化 文
未辛	午庚	巳己	辰 戊	卯丁	寅丙	丑乙	子 甲
附近ノ兒女ニ手製ノ巾着襪袋等ヲ與ヘ又啼泣スル兒ニハ自カラ菓子ヲ與ヘ其ノ喜ブヲ見テ榮ミトセラル							
1811	1810	1809	1808	1807	1806	1805	1804
	九月十五日十三歳ニシテ庄屋敷村中山家ニ娘分トシテ與入セラル。時ニ夫善兵衛殿二十三歳	前川家ハ淨土宗ノ熱心ナル信者ニシテ幼ヨリ母ノ朝夕勤行ノ淨土和讃ヲ聞キ途ニ出家遁世ノ志堅ク尼タラント乞フテ許サレズ	七歳ヨリ十一歳迄五ヶ年間村ノ寺子屋ニ通ヒ讀書算術習字等當時ノ女子トシテノ一般ノ教育ヲ受ケサセラル				
14歳	13歳	12歳	11歳	10歳	9歳	8歳	7歳
村田春海歿ス(年六六)	ベルリン大學開始 ナポレオンノ全盛時代	間宮林藏黒龍江地方ヲ探險シ歸ル	四月下田浦賀附近ニ砲臺ヲ築ク 間宮林藏樺太探險ニ赴ク 九月加藤千蔵歿ス アメリカ合衆國奴隷貿易ヲ禁ズ	十月函館奉行ヲ松前奉行ト改ム 米人フルトン汽船ヲ發明ス	ビツト死ス。八月六日神聖ローマ帝國滅亡。十一月ナポレオン大陸封鎖令ヲ布告ス	五月浮世繪師喜多川歌麿歿ス 十月加藤千蔵萬葉集略解ヲ獻ズ	三月ナポレオン法典ノ發表 五月ナポレオン帝位ニ登ル 大哲學者カント死ス 頼山陽ノ日本外史草稿成ル 十月二十一日トラフアルガルノ海戦ネルソン西佛聯合艦隊ヲ破リ戦死ス

2514	2513	2512	2511	2510	2509	2508
政安	6	5	4	3	2	永嘉
寅甲	丑癸	子壬	亥辛	戌庚	酉己	申戊
明 孝						
1854	1853	1852	1851	1850	1849	1848
産屋(安産)ノ御供初メテ下附セラル(一説ニ安政二年トアリ)	二月二十二日夫善兵衛殿歿セララル(年六十六歳) 小寒子殿十七歳ノ御身ヲ以テ二三ノ門弟ヲ從ヘ大阪ニ赴キ 神名宣傳ノ第一歩ニツキ給フ				秀司殿モ神命ニ依リ村ノ若者ニ讀書ヲ教ヘ給フ 善兵衛殿最初ハ神命ヲ奉ジ給ヒシモ家計漸ク傾クヲ見テ祖先 傳來ノ名家ヲ絶ヤサンコトヲ憂慮シ且ツ狐狸ノ類ニアラザル カヲ疑ヒ或夜名刀ヲ揮ヒテ教祖ヲ諫メ給フ	教祖ノ言行何レモ是レ神命ニ依ルト雖モ里人狐狸ノ類トシテ 信ゼズ故ニ教祖ハ神命ニ依リ近隣ノ女子ニ裁縫ヲ教ヘ給ヒテ 暗ニ狐狸ノ類ニアラザルヲ示シ給フ
57歳	56歳	55歳	54歳	53歳	52歳	51歳
三月英佛同盟 八月英ト和親條約ヲ結ブ 八月英佛同盟 三月英佛同盟 クリミヤ戦争始マル	正月米使ベルリ一再ビ浦賀ニ來ル 三月米ト和親條約締結 吉田松蔭捕ヘラレ翌月佐久間象 山捕ヘラル 七月日章旗ヲ日本國船印ト定 ム	五月大森ニ砲臺ヲ築ク 九月二十二日明治天皇御降誕 六月米使ベルリ一浦賀ニ來ル 八月砲臺ヲ品川灣ニ築ク	正月土佐ノ漂民萬次郎米國ヨリ 歸ル	十月高野長英自殺ス(年四七) 六月洪秀全遂ニ反ス皆髮ヲ蓄フ 故ニ長髮賊ト云フ 英佛間ニ海底電線布設	二月黒住教祖黒住宗忠歿ス 四月英艦浦賀ニ來ル	十一月瀧澤馬琴歿ス 佐久間象山洋式野戰砲ヲ造ル

2507	2506	2505	2504	2503	2502	2501	2500	2499
4	3	2	化弘	14	13	12	11	10
未丁	午丙	巳乙	辰甲	卯癸	寅壬	丑辛	子庚	亥己
明 孝				孝 仁				
1847	1846	1845	1844	1843	1842	1841	1840	1839
						帶屋ノためしニカ、リ給フ		爾來教祖ハ神命ノマ、ニ御所持ノモノヲ始メトシ家産田地山 林等ニ至ルマデ金穀ニ代ヘ貧困ノ者ニ施與シ給フ 此ノ間教祖ノ慈悲博愛ノ情其ノ極ニ達シ又常ニ神名ヲ稱ヘ神 意ヲ家人並ニ近親ノモノニ傳ヘ給フ
50歳	49歳	48歳	47歳	46歳	45歳	44歳	43歳	42歳
二月相模、安房、上總沿海守備 ヲ命ズ 六月蘭人再ビ外交ニ付忠告ス 九月水戸慶喜一橋家ヲ繼グ	二月十三日孝明天皇踐祚 閏五月米船浦賀ニ來リ交易ヲ求 ム不許	四月浦賀新砲臺築造	七月蘭使歐洲ノ形勢ヲ告グ	三月歌人香川景樹歿ス 平田篤胤歿ス(年六八)	正月僧契沖寂ス	南京條約鴉片戰爭終ル	十月渡邊華山自刃ス(四九)	渡邊華山、高野長英罪セラル

2521	2520	2519	2518	2517	2516	2515
久文 酉辛	延萬 甲庚	6 未己	5 午戊	4 巳丁	3 辰丙	2 卯乙
明 孝						
1861	1860	1859	1858	1857	1856	1855
			當時中山家ノ裏ニ住ム百姓惣助ノ妻お雪ニ帯屋ノ許シテ授ケ給フ、是レ一般世間ニ帯屋ノ許シテ授ケ給ヒシ始メナリ		教祖ノ第三女春子様(當時標本ノ親本惣次郎殿夫人、故前管長公ノ母堂)長男龜造殿出產ニ付産屋ノ許シテ授ケラル、是レ産屋許シノ始メナリ(一説ニ曰ク二年)	善兵衛殿死去ノ當時遺産トシテ田地三町歩アリシモコレヲ十ヶ年ノ年切賃トシテ慈悲ノ料ニ充テ給フ 爾後貧苦艱難ノ道ヲ通リ給フサレバ小妾子殿ハ月夜糸ヲ紡ギ秀司殿ハ青物其ノ他ノ行商ニ出デ家計ヲ助ケラル 以後五六年間ハ貧ノ谷底ニ陥リ給フ
64歳	63歳	62歳	61歳	60歳	59歳	58歳
	六月葡國ト和親條約ヲ結ブ 十一月リンカーン米國大統領ニ選バル。シヨベンハウエル死ス	六月露、蘭、佛、英、米ト神奈川、長崎、函館ニテ貿易ヲ命ズ 十月頼三樹、橋本佐内、吉田松蔭等刑罰 佛國サイゴンヲ占領ス グーウイン著 種ノ起原發表	四月井伊大老任ゼラル 六月日米條約ニ調印 九月日佛條約調印 安政ノ獄起ル 天津條約(六月)	四月軍艦教授所ヲ設ク。十月ハリス將軍ニ謁ス。翌月米國ト通商條約ヲ議定ス	米國總領事ハリス來ル。十月二宮尊徳歿ス(年七〇)三月三十日バリー條約ククリミヤ戰爭終ル	十月江戸地震、藤田東湖歿死(年五〇)

2525	2524	2523	2522
應慶 丑乙	治元 子甲	3 亥癸	2 戌壬
明 孝			
1865	1864	1863	1862
八月十九日教祖ハ大豆越村山中氏宅ニ出デアリ、忠七氏ニ肥ノ授ケテ渡サル、同二十一日小寒子様モ出デアリ共ニ二十三日マデ滞在シ給フ 六月田村ノ法蓮寺ノ住職田井之庄ノ光蓮寺ノ寺僧等辯難ニ來ル又神官取締ノ守屋筑前來リ教祖ニ感ジ公然布教ノ許シテ受テベキコトヲ云ヒ殘シテ引キ取ル 十月針ヶ別所ニ助造ナルモノアリ、本教ノ本地垂迹説ヲ唱フ等不心得ノ事アリシニヨリ教祖ハ飯降、山中、山澤ノ諸氏ヲ從ヘテ出張シ其ノ不心得ヲ諭シ給フ	一月大豆越村山中忠七氏妻女ノ病氣ヨリ信仰ニ入ル 二月山中忠七氏信心ノ効ニヨリ扇ノ授ケテ受ク 四月八日秀司殿大豆越ノ山中氏宅ニ赴カル 五月標本村飯降伊藏(三十二歳)妻女ノ産後ノ病ニテ信仰ニ入ル(一説ニ七月トアリ) 七月井伊三郎氏信仰ニ入ル。山澤真助氏信仰ニ入ル 三度安堵村ヘオ出デアリ當時近村ヲ初メトシ大豆越横田龍田七條安堵村附近ヨリ信仰ニ入ルモノ多シ 十月廿七日勤場所棟上ノ翌日十二人ノ門弟等大豆越村ノ山中家ヨリ招待ニ應ジテ赴カル途中大和神社ノ鳥居前ニテオ勤セラル神官ハ神ヲ汚スノ故ヲ以テ三日間鳥居前ノ城與ニ留置ス十二月中旬勤場所出來上ル、九月十三日手斧初メ、十月二十六日棟上げ、六間ニ三間半ノ建物ナリ	此ノ年安堵村ヘ重病入ノお助ケニ赴カル 歸途飯田岩治郎氏ヲ助ケ給フ 再ビ安堵村ヘオ出デアリ、豊田村仲田儀右衛門、辻忠作相前 後シテ入信ス	
68歳	67歳	66歳	65歳
正月長州藩士高杉晋作舉兵ス 八月留學生ヲ英國ニ遣ス 四月リンカーン暗殺セララル	七月佐久間象山死ス(年五四) 蛤御門ノ變 八月長州征伐布令 長藩英、米、佛、蘭ノ兵ト戦フ 朝鮮ノ大院君政權ヲ執ル 赤十字同盟調印	五月長藩外國船砲撃 一月リンカーン奴隸廢止令ヲ布告ス	正月坂下門ノ變 八月生麥ノ變 九月蘭國ヘ留學生差遣

2 5 3 3	2 5 3 2	2 5 3 1	2 5 3 0
6	5	4	3
酉 癸	申 壬	未 辛	午 庚
治 明			
1 8 7 3	1 8 7 2	1 8 7 1	1 8 7 0
山本利三郎氏信仰ニ入ル 飯降氏教祖ノ命ニヨリ木製ノ甘露臺ノ模型ヲ造ル 七月十九日河内國早鯉ニツキ講社ノ依頼ニヨリ仲田、掛井、 高井、山本ノ諸氏出張シテ河内法傳寺八尾ノ邊ニ雨乞勸ヲ執 行ス	此ノ年ノ正月神前ニ七八斗ノ饅餅供ハル、後レヲ村人及ビ 信徒ニ頒チ與ヘラル、是御節會ノ始メナリ 教祖ハ神命ニヨリ七十五日間絶食シ給ヒシモ御衰弱ノ様子ナ ク而モ時々力試シサヘシテ神ノ自由用ヲ示シ給フ 教祖ハ松尾市兵衛氏病氣ニツキ五人ノ教弟ヲ隨ヘ生駒郡平群 村字若井村ニ御出デニナリ四日間滞在アリ	春子殿(前管長閣下御生母)歿セララル	三月十五日秀司殿長女秀子殿歿ス(十八歳) 僧侶ノ反對ニ依リ止ムナク布留街道マデ神葬トシソレヨリ佛 葬トシテ善福寺ニ葬ル 『ちよとはなし』及ビ序歌八首ヲ御製作遊バサル 教祖平等寺村ノ小東家へ小寒子殿同伴オ出デ遊バサル
76歳	75歳	74歳	73歳
一月五節旬ヲ廢シ祝日ヲ定ム 六儀臺ヲ置ク 徵兵令發布 九月岩倉大使等歸朝 征韓論破レ參議西郷隆盛辭職 十一月内務省設置 一月ナポレオン三世死ス	二月陸海軍二省設置 東京横濱間鐵道成ル 三月親兵ヲ廢シ近衛兵ヲ置ク 十一月曆制ノ改定神武天皇即位 年ヲ紀元トス	正月東京大阪間ニ郵便設置 二月親兵ヲ廢シ、長、土三藩ニ徵 ス 七月司法、文部兩省設置 廢藩置縣 八月散髮脫刀許可 十月大使ヲ歐米ニ發ス 十一月三府七十二縣トス	二月神太開拓使設置 四月種痘法普行 九月藩制改革、庶人稱氏許可 普佛戰爭 十二月北ドイツ聯邦議會ドイツ 帝國ノ再興ヲ決ス 伊國ローマヲ併セ統一完成

2 5 2 9	2 5 2 8	2 5 2 7	2 5 2 6
2	治 明	3	2
巳 己	辰 戊	卯 丁	寅 丙
治 明			
1 8 6 9	1 8 6 8	1 8 6 7	1 8 6 6
正月ヨリ御筆先ヲ起草セララル 教祖若井村松尾市兵衛氏宅ニ御出デアリ同氏入信ス	一月ヨリ八月ニ亙リ御神樂歌ノ御製作アリ 七月二十三日日本部ハ神祇管領吉田家ヨリ天理王明神祈禱祈念 ノ許可ヲ得公然布教スルコトヲ許サル。八月ヨリ明治初年ニ カケ辻忠作、仲田儀三郎、村田幸右衛門、前川喜三郎、岡本 重次郎、北田嘉市諸氏ニ御神樂ノ手振ヲ教ヘ給フ 小東政吉氏ノ二女松枝子殿秀司殿ノ室トナル(初代管長夫人 玉恵子殿御生母) 高安村松村氏一家信仰ニ入ル(松枝嫁入嫁ノ折さく女始メテ 地場ニ來ル) 布教許可願ヲ神祇事務局ニ提出ス	五月七日初代管長公御誕生遊バサル(幼名ヲ眞之亮殿ト申上 グ堀本惣次郎氏ノ第三男ニ當ラセラル)秋ノ頃小泉村ノ不動 院ノ僧來リ亂暴ヲ極メテ引キ取ル(一説ニ元年トアリ)同年ノ 末在來ノオ勸メノ方法ヲ改メ『あしきはらひ』ノ手ヲツケ給フ	六月幕軍長州ニ通ル連戦不利 九月征長軍停止 歐米間ノ電信開通
72歳	71歳	70歳	69歳
正月薩、長、土、肥四藩主藩籍 奉還奏請。二月新聞紙刊行許可 五月根本武揚等降ル 六月藩籍奉還允許、公卿諸侯ヲ 華族ト改稱ス 七月官制改革六省設置 八月北海道ヲ置ク 九月賊大村益次郎ヲ刺ス 十二月電信創設 太平洋鐵道スエズ運河開通	正月鳥羽伏見ノ戰。舊幕地收納 五ヶ條御誓文 四月江戸城ヲ收ム 七月江戸ヲ東京ト改ム 八月即位大禮 九月八日明治ト改元 九月始メテ天長節 十二月英國首相ヂスレリ辭職 グラツドストン首相トナル	正月九日明治天皇踐祚 四月高杉晋作歿ス(年二九) 五月兵庫開港 北米合衆國アラスカツ露國ヨリ 購入ス	

2537	2536	2535	2534
10	9	8	7
丑丁	子丙	亥乙	戌甲
治明			
1877	1876	1875	1874
<p>二月五日故管長閣下夫人玉惠子殿里方デ御誕生 教祖ハ小東家ニオ喜ビノタメニオ出デアリ 杉本村ノ醫者ノ讒誘ニヨリ御供中ニ藥物混入セシトノ嫌疑ヲ蒙リ秀司殿ハ奈良監獄ニ三十日間拘留(未決十日ヲ算入シテ四十日)ニ處セラル</p>	<p>信徒ノ參詣ニ便宜ヲ與ヘ且ツ官憲ヘノ申開キノタメ秀司殿ハ櫻縣ノ許可ヲ得テ蒸氣呂榮宿屋業ヲ營マル</p>	<p>春頃神命ニヨリ教祖ハ高弟等ト共ニ甘露臺ノ地ヲ定メ給フ同年表門建築セラレ是レヲ中南門ト稱ス 八月下旬縣廳ヨリ取調ノ件アルニヨリ秀司殿同伴出頭スベキ召喚狀ニ接ス、サレド秀司殿病氣ニツキ辻氏代理トシテ教祖ニ隨行、此ノ時多數ノ人ヲ來拜セシメ庶民ヲ迷ハス故ヲ以テ教祖三日間辻氏五日間ノ拘留ニ處セラレ給フ 小寒子殿教祖歸宅ノ前日三十九歳ヲ一期トシテ逝去セラル(舊曆八月廿八日新曆九月廿七日)増井りん氏信仰ニ入ル 九月初旬奈良警察ハ主ナル信者ヲ同署ニ召喚シ天理王命ヲ信仰セザル誓約書ニ署名セシム 「一列ナシ甘露臺」ノ御手ヲツケラル</p>	<p>十月石上神宮ノ神職五名辯難ニ來リ、教祖ニ説破セラレテ歸途丹波市分署ニ立チ寄り訴フ、故ヲ以テ警察官地場ニ來リテ神具一切ヲ沒收シ村ノ惣代ニ預ケテ引上グ、是レヨリ官憲ノ取調愈々激シ 十一月十五日教祖ハ仲田、辻諸氏ト共ニ山村御殿(圓照寺)ニ於テ取調ベテ受ケ給フ 山村御殿ヨリオ歸リ後間モナク神命ニ依リ赤衣ヲ召シ給フ(コレマデハ上着黒衣ニシテ下着ノミ赤衣ナリキ) 十一月十七日仲田、松尾、辻ノ諸氏奈良中教院ニ召喚セラレ信仰差シ止メノ殿命ヲ受ク</p>
80歳	79歳	78歳	77歳
<p>二月朝鮮トノ修交條約成ル 三月士民ノ帶刀禁止 十月神風連ノ變</p>	<p>二月西南役起リ九月平ダ 三月萬國郵便聯合條約ニ加盟 八月内國勸業博覽會開會 十一月始メテ電話ヲ試設ス 米人ダラハムベル電話ヲ始メテ實用ニ供ス</p>	<p>一月郵便爲替法施行 四月元老院、大審院ヲ置ク 六月地方官會議召集 新聞紙條令及讒誘律制定 十月招魂場ヲ招魂社ト改ム 英國スエズ運河ノ株券ヲ買求ス</p>	<p>一月副島種臣等民選議院設立ヲ建白ス 二月佐賀ノ亂起ル 十月九日萬國ノ郵便同盟調印</p>

2541	2540	2539	2538
14	13	12	11
巳辛	辰庚	卯己	寅戊
治明			
1881	1880	1879	1878
<p>四月十日秀司殿歿セラレタルニ付此ノ年九月前管長閣下家督ヲ繼ガル。二月二十日梅谷四郎兵衛氏參詣ス。四月十七日大阪眞明組ノ一團御地場ニ來拜ス。同時ニ明心組モ亦來拜ス。九月山田伊八郎氏入信ス。十二月諸井國三郎氏入信ス。此ノ年ノ末頃ニ至リ甘露臺ヲ石ニテ積ミ上ゲントセシモ二段目ニテ石工ノ過失ニテ製作中ノ石ヲ缺キ遂ニ逃走セシカバ其ノ儘ニ打テ捨テラレタリ 御筆先止ム 教祖ヲ始メ松枝様、小東(松枝様ノ弟)山澤、辻、仲田ノ諸氏多數ノ人ヲ集メテ之ヲ恣ハスヲ理由トシ科料ニ處セラレ給フ(十月七日トアリ)</p>	<p>前管長公棟本ノ生家ヲ離レ中山家ノ養子トシテ三島ニ引キ越シセラレ時ニ御年十五歳 信徒來拜ニ對スル官憲ヘノ申開キノタメ乙木村山本吉兵衛氏ノ勸メニヨリ金剛山下久留野村地福寺ノ出張所トナル(五月二十六日トノ説アリ)。土蔵一棟建築サル 遠近ヨリ參詣スル信徒次第ニ多ク教會組織ノ識人々ノ間ニ起ル。松田晋次郎氏信仰ニ入ル。土佐卯之助氏信仰ニ入ル</p>	<p>正月十七日松尾市兵衛氏歿ス 宮森與三郎氏入信ス 井筒梅次郎氏入信ス 秀司殿幼子歿ス 秋頃客間五間ニ二間ノ二階建出來上ル</p>	<p>長女政子殿(當時福井家ニ居ラル)善福寺ニ於テ五重相傳ヲ受ケラル 山澤爲造氏信仰ニ入ル</p>
84歳	83歳	82歳	81歳
<p>一月警視廳設置 三月憲兵設置 四月農商務省設置 五月小學校教則綱領ヲ定ム 十月國會設立ノ詔下ル 十一月日本鐵道會社創設許可自由黨起ル 三月アレクサンドル二世ノ暗殺 七月アメリカ合衆國大統領ガ1 ファイールドノ暗殺。パナマ地峽開鑿起工。カーライル死ス</p>	<p>二月地方官會議 内閣ト諸省トノ分離 橫濱正金銀行創立 六月山梨、三重、京都ヘ行幸 七月濟幸 二月露國冬宮内ノ變 盧無黨撲滅ノ殿命出ズ</p>	<p>三月勸諭ノ詔下ル 始メテ府縣會開會 八月三十一日先帝陛下御降誕 九月學制ヲ變シ教育令制定 十二月三信ノ有志國會開設ヲ請願ス</p>	<p>五月賊大久保利通ヲ刺ス 六月春秋皇靈祭日設置 郡町村編成法制定 十二月陸軍參謀本部設置</p>

2 5 4 3	2 5 4 2
1 6 未 癸	1 5 午 壬
治 明	
1 8 8 3	1 8 8 2
<p>三月清水與之助氏入信 此ノ頃警官ノ巡視警備甚シク四月二十六日ノ御縁日當日無謀ニモ泥酔シタル警官五名來リ神樂中ノ小餅ヲ壁土中ニ投ゲ入レ御社ヲ燒キ拂ヒタルコトサヘアリ 教祖御休息所新築落成ス 七月十三日早鯨ニ付村民雨乞ヲ願ヒ出ヅ一度ハ警察ノ干涉ノ嚴シキヲ理由トシテ斷リタルモ懇望默ダシ難ク神命ヲ何フ、神樂ノ御許シアリケレバ三鳥領ノ四角ニ於テ神樂勤ヲ執行ス時ニ俄ニ盆ヲ覆ス如キ大雨アリ村民狂喜ス、サレド教祖ヲ始メオ動メニ加リタルモノ丹波市分署ニ拘引セラレ神樂勤ノ遺具一切ヲ沒收シ水利妨害ノ理由ヲ以テ各々科料ニ處セララル 七月十四日高井氏兩乞ヒノタメ倉橋村へ主要</p>	<p>飯降翁御地場ニ伏込マル(二月八日)時ニ五十歳 三月十四日高井、宮森、井筒梅治郎ノ諸氏連州ニ布教ス (コレヨリ東方布教開始セラレ) 五月十五日警官來リ甘露臺ノ石及ビ教祖ノ衣服ヲ沒收ス 舊五月十五日山澤長助氏歿 河内教興寺村ノ松村きく子病氣ノ故ヲ以テ教祖ハ飯降氏、井、山澤、辻、仲田ノ諸氏ヲ隨ヘ同地ニ御出向アリ 舊九月十六日神命ニ依リ神樂勤ヲ行ヒタルヲ違警罪ニ問ハレ教祖ノ外、山澤、辻、仲田、山本、森田清藏ノ諸氏奈其監獄ニテ十日ノ拘留ニ處セララル 飯降先生ハ弟子山中晋吉ノ寄留届ヲ怠リタルノ故ヲ以テ教祖御歸宅ノ當日ヨリ十日間奈其監獄ニ拘留セララル 舊九月三十日秀司殿夫人松枝殿歿セララル 十月斯道會京都ニ生ル、御地場ヨリ仲田、山本、梅谷ノ諸氏出張ス 茨木基教氏信仰ニ入ル。上原佐助氏信仰ニ入ル</p>
86 歳	85 歳
<p>四月新聞紙條令改正 七月官報發行、岩倉具視公薨ズ 八月伊藤博文歸朝 獨、埃、伊三國同盟成ル 露ノゴルチヤコフ死ス</p>	<p>一月軍人ニ詔勅下ル 三月伊藤博文ヲ歐洲ニ遣ス 六月日本銀行條令制定 七月朝鮮京城ノ變 八月朝鮮トノ講和條約成ル 十月日本銀行開業 ガンベツタ。ガリバルチ死ス</p>

2 5 4 6	2 5 4 5	2 5 4 4
1 9 戊 丙	1 8 酉 乙	1 7 申 甲
治 明		
1 8 8 6	1 8 8 5	1 8 8 4
<p>當時來詣スル信徒益々多キヲ加フルモ未ダ教會設置ノ許可ナキヲ以テ信徒ノ來集ハ法ノ認ムル所ニアラズトシ緣日(二十日)ニハ必ズ教祖ヲ監禁スルヲ常トス 増野正兵衛氏信仰ニ入ル(二月) 春三月或ル夜巡查(足達、平野)二名辻氏ノ聖田ニ歸ラントス ル途中ニテ捕ヘ同道シテ中山家ニ入り來リ教祖ノ御側ニ御供アルヲ見抜刀シテ鴻田氏ヲ叱責シタリ 翌日奈其警察署ニ拘引、教祖十二日鴻田氏十日ノ拘留トナル</p>	<p>四月二十九日教會設置ヲ大阪府(當時奈良縣ヲ管轄ス)ニ出願セシモ許サレズ。此ノ頃眞明組天榮組ノ信者ニシテ教會設置ヲ企ツル者アリシモ何レモ成ラズ 五月九日前管長公閣下神道教師ニ補セラレ給フ 五月二十三日神道本局ノ配下ニ屬シ六等教會トナル 平野槍造氏信仰ニ入ル。上原佐助氏始メテ東京ニ布教ス 六月神道本局ノ添書ヲ得テ教會設置ヲ大阪府ニ出願許サレズ 七月再願手續ヲナセシモ是亦開キ届ケ難シトシテ却下セララル</p>	<p>正月十五日心勇講ノ一團三百餘名御地場ニ來拜ス、當時ハ警察ノ干涉酷シキ時ナルヲ以テ是レヲ斷レドモ勇切リタル信徒ハ遂ニ旅館豆腐屋ニ集リテ神樂勤メヲナス警官直チニ來リ信徒ヲ解散セシメ教祖ヲ標本警察署ニ前管長閣下、上村、井、仲田其ノ他ノ諸氏ト共ニ拘引ス 教祖十二日井、仲田兩氏ハ十日間ノ拘留トナル 四月諸井國三郎氏埼玉縣ニ布教ス 五月神道本局員内海政雄、古川豊彰兩氏教勢視察ノタメ地場ニ來リ地方廳ノ認可ノアルマデ大神教會ノ管理ヲ受クベキ事トナル。七月仲田儀三郎氏歿ス 十二月八日教祖八十九歳ノ御身ヲ尙且ツ壯者ヲ凌グ御健康ナリシガ當日風呂ヨリ御出デノ時ヨロメキ給フ、越エテ十一日輕微ナル異狀ヲ拜ス、其ノ後サシタルコトナク越年セララル</p>
89 歳	88 歳	87 歳
<p>一月朝鮮トノ講和條約ナル 四月國防會議條令制定 九月日本郵船會社成ル 十二月内閣組織(伊藤内閣) 工部省ヲ廢シ逓信省ヲ設ク ゴルドン將軍戰死。 カナダ太平洋鐵道完成</p>	<p>一月朝鮮トノ講和條約ナル 四月國防會議條令制定 九月日本郵船會社成ル 十二月内閣組織(伊藤内閣) 工部省ヲ廢シ逓信省ヲ設ク ゴルドン將軍戰死。 カナダ太平洋鐵道完成</p>	<p>三月地租條令制定。制度取調局設置。朝鮮ノ海底電線ヲ設ク 五月區町村會法改正 六月商標條例制定 七月華族令ヲ定ム 十二月清兵、朝鮮兵ト我ガ公使館ヲ襲フ 一月ゴルドン將軍スダンノ兵ヲ破ル</p>

2 5 4 8	2 5 4 7
2 1	2 0
子 戊	亥 丁
治 明	
1 8 8 8	1 8 8 7
<p>二月十八日(舊曆一月二十六日)午前二時ヨリ御容態御急變ノ狀ヲ拜シ諸氏ノ憂愁一方ナラズ未明ニ至リ『世界六地にふみならず』ノ御言葉アリ</p> <p>其後益々神樂勤ヲ急キ込ミ給フコト急ナリシカバ詰合ノ人々ハ部署ヲ定メ意ヲ決シ鉦ノ音太鼓ノ響モ勇マシク甘露寮ヲ中心ニ御神樂勤メニ取リカ、ル</p> <p>時ニ教祖ハ此ノ壯嚴ナル神樂勤メヲ耳ニセラレ殊ニ御満足ノ御様子ナリシガ御神樂勤ノ終ルト同時ニ『立て合ひと云ふ立合』『一列屏開くころりと變るで』等ノ御言葉ヲ最後トシテ御昇天遊バサレタ時ニ午後二時</p> <p>越エテ二十二日數萬ノ教ヘ子ハ御櫃ノ御供ヲシ先ヅ善福寺ニ葬リ奉リマ</p> <p>舊二月十七日飯降伊藏翁ハ神意ニヨリ身上ニ障リツク梶本惣治郎氏歿ス。四月本部神樂増築セラル。島村菊太郎氏信仰ニ入ル。舊三月一日午前五時飯降翁本席トナラレタリ</p> <p>七月神樂増築落成セシニ付奉告祭執行セラル</p> <p>九月二十日、山田作治郎、畑林爲七兩氏參詣ス</p> <p>十一月正明講ノ一團御地場ニ歸參ス</p>	<p>二月十八日(陰曆)前管長閣下齋主ノ下ニ教祖一年祭執行セラル、參拜セル教職六十餘人、然ルニ式半ニシテ標本ヨリ營部一人警官十五名程出張シテ祭式ヲ差止メ參詣人ヲ追ヒ掃ヒ門ヲ閉塞セシム</p> <p>二月標本村梶本氏宅次イデ安堵村飯田氏宅ニ閣下始メ十二人ノ重役ハ教會設置出願ノ件ニ付キ協議セラル</p> <p>三月教會設置出願ノタメ清水與之助、諸井國三郎氏上京下谷區北稻荷町ニ止宿シ後閣下ハ平野、松村兩氏ヲ伴フテ上京セラル、四月五日教會設置願ヒテ東京府ニ提出、同月十日認可アリ、下谷區北稻荷町四番地現東大教會所在地ニ神道直轄天理教會本部ヲ置ク。七月二十三日天理教會本部ヲ大和三島(現本部所在地)ニ移轉ス</p> <p>十月二十六日(舊)天理教會開庭式並ニ秋季大祭ヲ執行</p> <p>天理教會規約制定發布セラル</p>
2 3 歳(コレヨリ初代管長閣下ノ御年ヲ記ス)	9 0 歳(初代管長閣下時ニ御年二二歳)
<p>四月市町村制及樞密院官制公布</p> <p>黒田内閣成立</p> <p>五月始メテ博士號ヲ加藤弘之等ニ授ク</p> <p>十二月皇居ヲ宮城ト改稱セラル</p>	<p>一月始メテ電氣燈ヲ東京ニ點ズ</p> <p>三月海防整備ノ勅下ル</p> <p>所得税法公布</p> <p>五月各國公使ト條約改正會議ヲ開ク</p> <p>七月條約改正中止</p>

2 5 5 1	2 5 5 0	2 5 4 9
2 4	2 3	2 2
卯 辛	寅 庚	丑 己
治 明		
1 8 9 1	1 8 9 0	1 8 8 9
<p>二月十八日中寮勘造氏東分教會ヨリ分離シテ日本橋分教會ヲ起ス</p> <p>五月九日上村吉三郎氏山田伊八郎氏共ニ敷島分教會ヲ起ス</p> <p>五月五日久保小三郎氏田原支教會ヲ起ス</p> <p>六月一日松村吉太郎氏高安分教會ヲ起ス</p> <p>十二月十日前管長閣下ハ玉恵子殿ト御結婚式ヲ舉ゲラル</p> <p>十二月十五日前管長閣下ハ神道管長ヨリ神道本局評議員ヲ命ゼラレ給フ</p> <p>四月六日神道本局ヨリ一等直轄教會ニ昇格セラル</p> <p>四月二十一日植田平一郎氏中和支教會ヲ起ス(當時郡山部屬)</p> <p>五月北海道布教開始セラル。五月十二日山田作次郎氏畑林爲七氏南海支教會ヲ起ス。六月九日平野辰次郎氏日和佐支教會ヲ起ス。六月十二日笹西治郎兵衛氏梅谷分教會ヲ起ス。六月二十九日井筒梅次郎氏津分教會ヲ起ス。十月二十四日島村菊太郎氏津分教會ヨリ分レテ高知分教會ヲ起ス。</p> <p>十一月三日梶本松次郎氏歿ス。十二月一日寺田牛兵衛氏綱島分教會ヲ起ス。十二月二十八日機關誌道之友發行セラル。</p> <p>十二月二十八日茨木基敬氏北分教會ヲ起ス</p>	<p>二月十八日中寮勘造氏東分教會ヨリ分離シテ日本橋分教會ヲ起ス</p> <p>五月九日上村吉三郎氏山田伊八郎氏共ニ敷島分教會ヲ起ス</p> <p>五月五日久保小三郎氏田原支教會ヲ起ス</p> <p>六月一日松村吉太郎氏高安分教會ヲ起ス</p> <p>十二月十日前管長閣下ハ玉恵子殿ト御結婚式ヲ舉ゲラル</p> <p>十二月十五日前管長閣下ハ神道管長ヨリ神道本局評議員ヲ命ゼラレ給フ</p>	<p>一月四、五日節會執行セラル。二月五日平野勘造氏ハ郡山分教會ヲ起ス。三月十三日清水與之助氏兵神分教會ヲ起ス。三月十八日諸井國三郎氏山名分教會ヲ起ス。三月二十九日梅谷四郎兵衛氏船場分教會ヲ起ス。五月神道管長ヨリ三等直轄教會ニ昇級セラル。六月二十一日深谷源次郎氏河原町分教會ヲ起ス。七月六日前管長ハ奈良縣添上添下山邊廣瀬平群郡長平田好氏ヨリ名張街道岩屋ヶ谷開墾委員ヲ委嘱セラル。八月十六日神道天理教東京出張所ヲ設ケ是レガ届出ヲナス。九月二十六日土佐卯之助氏撫養分教會ヲ起ス。</p> <p>別席ヲ始メラル。十一月二十二日東京出張所ヲ廢シ東分教會ニ引キ直ス。十二月十七日上原佐助氏東分教會長トナル。</p>
2 6 歳	2 5 歳	2 4 歳
<p>二月帝國憲法發布</p> <p>十月東京、京都間鐵道成ル</p> <p>條約改正ノ聲四方ニ喧シ</p> <p>大隈重信傷ケラル</p> <p>三條實美總理大臣ニ任ゼラル</p> <p>十二月決開條例公布</p> <p>山縣内閣成立</p> <p>ブラジルノ革命帝政ヲ廢シテ共和國ヲ建設ス</p>	<p>二月裁判所構成法公布</p> <p>金鷄勳章創設</p> <p>四月民事訴訟法公布</p> <p>五月府縣制公布</p> <p>七月全國衆議院議員選舉施行</p> <p>十月元老院廢止</p> <p>教育勅語下ル</p> <p>十一月第一回帝國議會召集</p> <p>京都御所ヲ京都皇居ト稱セラル</p>	<p>四月府縣制制實施</p> <p>五月松方内閣成立</p> <p>露國皇太子大津ノ變</p> <p>十月濃尾大地震朝彦王薨ス</p> <p>十一月帝國議會召集</p> <p>十二月衆議院解散</p> <p>カリフォルニア支那人移住禁止案通過</p> <p>シベリア鐵道起工</p>

2 5 5 5	2 5 5 4
2 8	2 7
未 乙	午 甲
治 明	
1 8 9 5	1 8 9 4
<p>二月支那布教開始セラル</p> <p>二月琉球布教開始セラル</p> <p>三月二十九日岡本善六氏旭日支教會ヲ起ス</p> <p>十一月十三日山本利三郎氏歿ス</p> <p>十一月二十四日上村吉三郎氏歿ス</p>	<p>一月九日富松治郎氏櫻井支教會ヲ起ス</p> <p>一月二十六日前管長閣下權大教正ニ進級</p> <p>五月二十八日前川喜三郎氏歿ス</p> <p>六月二十六日前管長閣下ハ神道管長ヨリ神道本局特選幹事ヲ拜命セラル</p> <p>六月二十八日前管長閣下ハ神道管長ヨリ神道建築ノ監督ヲ委托セラル</p> <p>七月二十九日(舊六月二十九日)西田伊三郎氏歿ス</p> <p>八月五日閣下ハ前川永尾兩氏ヲ隨ヘ箱根滯在中ノ神道管長稻葉子爵ヲ訪問セラル</p> <p>八月十七日清戦争ニツキ部下支教會ヨリ人夫五百ヲ募集シ出征セシメントシテ出願セラレシガ許サレザルニヨツテ軍資金トシテ金一萬圓獻納セラル</p> <p>八月二十六日先キニ募集セル日清戦役夫役志願者二千七百餘名ニ對シ其ノ志ヲ稱シ各分支教會ヲ通ジテ賞狀並ニ紋章杯ヲ授與セラル。九月二十六日中裏勸造氏歿ス</p> <p>十月二十七日閣下ハ篠森、松村、山中、清水ノ諸氏ヲ隨ヘ廣島ノ大元帥陛下ニ御伺候アラセラル</p> <p>十二月從來各分支教會出費所ノ靈麗ハ一定セザリシモ今後ハ本部ヨリ下附スルコトナラ</p> <p>十二月十四日石塚松次郎氏琵琶布教所ヲ起ス</p>
30 歳	29 歳
<p>二月威海衛占領(清國丁汝昌自殺シ北洋艦隊滅亡)牛莊澎湖島占領。四月清國講和使來ル。下關條約成ル(露獨佛ノ勸告)</p> <p>四月十七日日清講和條約成ル</p> <p>六月六日朝鮮ノ獨立ヲ布告ス</p> <p>キール運河開通。レントゲンX光線ヲ發明ス。イスラム教徒アルメニア人ヲ虐殺シ歐洲列國土耳古政治ニ干渉ス</p>	<p>三月九日大婚二十五年祝典舉行</p> <p>五月帝國議會召集</p> <p>六月議會解散</p> <p>大島圭介京城ニ向フ</p> <p>七月日英改正條約ナル</p> <p>豐島沖ノ戰</p> <p>八月日清ノ戰勅下ル</p> <p>朝鮮ト同盟條約締結</p> <p>九月大本營廣島ニ進ム</p> <p>平壤ヲ陥ル</p> <p>黃海ノ戰</p> <p>十一月旅順ヲ陥ル</p>

2 5 5 3	2 5 5 2
2 6	2 5
巳 癸	辰 壬
治 明	
1 8 9 3	1 8 9 2
<p>一月十七日中西金次郎氏大江支教會ヲ起ス</p> <p>舊正月十六日村田長平氏歿。一月二十九日飯降里子歿</p> <p>二月二十日名稱設置請願細則制定公布セラル</p> <p>三月八日岸本又次郎氏八木布教所ヲ起ス。四月朝鮮布教開始</p> <p>五月二十日宇都宮右源太氏字佐布教事務取扱所ヲ起ス</p> <p>五月二十四日矢追槍造氏治道布教事務取扱所ヲ起ス。六月十日原田藤吉氏中津布教所ヲ起ス。十月六日近藤政慶氏上町支教會ヲ起ス。十二月二十八日山田太右衛門氏甲賀支教會ヲ起ス(當時河原町部屬)</p> <p>十二月二十八日藤橋光次郎氏水口支教會ヲ起ス(當時河原町部屬)</p>	<p>一月廿三日山本利三郎氏ハ板倉楯三郎氏ト共ニ中河分教會ヲ起ス。二月二十六日平野辰次郎氏堺支教會ヲ起ス。二月二十日小松駒吉氏御津支教會ヲ起ス。三月五日支教會ヲ起ス。三月二十日支教會ヲ起ス(當時ハ郡山部屬ナリ)</p> <p>三月十五日市川榮吉氏城法支教會ヲ起ス</p> <p>三月二十六日飯田岩次郎氏平安支教會ヲ起ス。四月二十四日南海支教會ハ分教會ニ昇格ス。六月十日官許ヲ得テ豐田宇西ノ森ノ山腹ニ新墓地開鑿ノ工事ヲ起シ十二月十日ヲ以テ竣成ス。八月十六日下村賢太郎氏南紀支教會ヲ起ス。</p> <p>九月布教事務取扱所ヲ設ケ分支教會ニ部屬セシム同時ニ布教事務取扱所規約制定發布セラル。九月十五日増井幾太郎氏大縣支教會ヲ起ス(當時高安部屬)</p> <p>十月十五日富養竹松氏和爾支教會ヲ起ス(當時奈其支教會部屬)</p> <p>十一月十七日高田邦三郎氏西支教會ヲ起ス。十二月二日佐治登喜次氏湖東支教會ヲ起ス(當時ハ河原町部屬)</p> <p>十二月十三日(舊十月二十六日)教祖改葬執行セラル。前日午前八時頃ヨリ管長閣下ハ本部員十數名ト共ニ舊墓地善福寺ニ臨ミ教祖並ニ祖先ノ御遺骸ヲ發掘シ同夜ハ同寺内ニ安置セラレ翌十三日午前七時ヨリ閣下齋主トナリ本部員ヲ初メ部下教職數千人ト共ニ豐田山新墓地ヘ改葬セラル。參集スル信徒無慮十萬ト云フ</p>
28 歳	27 歳
<p>一月帝國議會停會</p> <p>二月文官俸給十分ノ一製盤費填充ノ詔下ル</p> <p>十月官制改革公布</p> <p>十二月帝國議會解散</p> <p>グラツトストンノ第二回アイランド自治案破ル</p> <p>シベリア東部鐵道開通</p>	<p>四月伊藤博文等條約改正調査委員トナル</p> <p>五月帝國議會停會</p> <p>六月小包郵便法發布</p> <p>伊藤内閣成立</p> <p>ソールスベリイ辭職</p> <p>グラツトストン首相トナル</p>

2 5 5 8	2 5 5 7	2 5 5 6
3 1	3 0	2 9
戌 戊	酉 丁	申 丙
治 明		
1 8 9 8	1 8 9 7	1 8 9 6
<p>二月日清戰役ノ際部下一般へ訓諭シテ軍資金一萬圓獻納セラレタルニヨリ賞勳局ヨリ銀盃一組賞與セラレ</p> <p>三月神意ヲ奉ジテ本部ニ婦人會ヲ起ス</p> <p>四月二十三日十數名ノ布教師渡臺シ臺中臺南ニ教會所ヲ設ク</p> <p>七月十五日神道管長稻葉正邦進臺セラレ</p> <p>十一月二日稻葉正善氏神道管長ニ選舉セラレ</p>	<p>一月十一日英照皇太后崩御ニ付例年ノ節會ヲ二月ニ延バシ又部下ニ諭達シテ樂器ヲ用ヒ祭式ヲ行フコトヲ止メシム</p> <p>四月十四日管長閣下大教正ニ進級セラレ</p> <p>九月二十四日池田四郎平新潟支教會ヲ起ス</p> <p>十一月十七日飯田岩次郎氏本部ニ反對スル故ヲ以テ免職セラレ前川菊太郎橋本清雨氏都合上辭職ス</p> <p>十二月一日安堵事件起ル</p>	<p>三月十年祭ニ付參拜者多キヲ豫想シ各信徒詰所増築セラル</p> <p>三月九日教祖十年祭執行、祭場ハ本部北門ノ裏ナル四千五百餘坪ヲ板圖トシ之レニ充ツ、參拜セル信徒約十萬人ト云フ</p> <p>四月臺灣布教開始、諸井國三郎氏ハ部下ノ教師數名ヲ從ヘ渡臺ス。五月二十日御幣ノ神實ヲ改メテ神鏡トセラレ。又天理王命ヲ天理大神ト呼ブコトニ改メラル。五月二十日朝夕ノ勤メニ「惡シキ拂ヒ」ノ手ヲ廢シ「一寸咄シ」ト「甘露臺」九度ノ御勤メニスルコトニ改メラル。五月十日日清戰爭招魂祭執行セラレ。十二月三十一日井筒梅治郎氏歿ス</p>
3 3 歲	3 2 歲	3 1 歲
<p>一月元帥府ヲ設置。監軍部ヲ廢シ教育總監部ヲ置ク。伊藤内閣成立。四月東京市民黨都三十年祭執行。六月衆議院解散。憲政黨組織成ル</p> <p>三月獨逸膠州灣租借。露國關東州租借。四月福建省不割讓ヲ日本ニ約ス。七月英國威海衛租借日本償金皆濟。朝鮮大院君卒ス</p> <p>四月米西戰爭。米國ハワイ島ヲ合ス。フィリピン島ヲ合ス</p> <p>ビスマルク死ス。露帝平和會議提唱</p>	<p>一月英照皇太后崩御</p> <p>三月貨幣金貨制施行</p> <p>六月京都帝國大學設置</p> <p>二月清廷郵便事務ヲ開始ス</p> <p>十月朝鮮國號ヲ韓ト改ム</p> <p>四月ギリシヤトルコト開戦敗ル</p> <p>十二月獨逸膠州灣ヲ占領ス</p> <p>マルコニ無線電信ヲ發明ス</p>	<p>一月臺灣土開墾起(翌月平定)</p> <p>二月竹塹ヲ軍港トス。四月大本營閉鎖。九月松方内閣成立。十月郵船會社濠洲航路開通</p> <p>北京漢口間鐵道敷設。アルメニア人ノ虐殺繼續。クリートノキリスト教徒イスラム教徒ニ對シテ舉兵。佛英條約シヤム領土保全ヲ保證ス</p>

2 5 6 1	2 5 6 0	2 5 5 9
3 4	3 3	3 2
丑 辛	子 庚	亥 巳
治 明		
1 9 0 1	1 9 0 0	1 8 9 9
<p>六月獨立請願ニ付清水、松村兩氏上京ス。七月十二日別派獨立ニツキ本局ト協議スル。六月十四日西浦彌平氏歿ス</p> <p>七月十六日獨立請願ニ付前管長公ハ清水、松村、篠森、長尾平野ノ諸氏ヲ隨ヘテ上京セラレ</p> <p>八月九日獨立認可ノ請願書始メテ政府ニ提出セラレ</p> <p>九月二十六日奈良縣廳ヨリ教校設置ノ認可ヲ受ク</p> <p>十月三日永尾槍治郎氏歿ス</p> <p>十一月二十八日ベスト病豫防ノタメ其筋ヨリノ注意ニヨリ秋季大祭延引セラレ</p> <p>十二月十六日山田作次郎氏歿ス</p> <p>十二月廿九日大縣分教會分離ス(當時高安分教會部屬)</p> <p>十二月九日宗教法案始メテ帝國議會へ提出セラレ</p> <p>十二月十五日平野とら子歿ス</p>	<p>一月天理教規則制定發布セラレ</p> <p>三月廿七日前管長閣下御養父母ノ廿年祭ヲ執行セラレ</p> <p>四月天理教校(元ノ北分教會信徒詰所ノ假校舎ニテ)開校セラレ、前管長ヲ校主トシ山中彦七氏は校長トナル</p> <p>五月雜誌道ノ友擴大セラレ</p> <p>七月城島分教會ヲ三輪町ニ移轉シ城島分教會ト改稱ス</p> <p>八月九日北清事變ニツキ陸軍恤兵部ヘ金二千圓寄附セラレ</p> <p>十月二十二日前年提出ノ獨立請願書却下セラレ</p>	<p>一月十五日水口支教會ハ河原町分教會ヨリ分離シ分教會ニ昇格ス</p> <p>五月十三日清水與之助氏歿ス</p> <p>六月二十七日第二回獨立請願書提出</p> <p>七月天理教會事務取扱規則發布セラレ</p> <p>七月天理教校本校舎建築工事着手セラレ(現中學校舎)</p> <p>八月天理教會教務取扱規則發布アリ</p> <p>九月甲賀分教會ハ河原町分教會ヨリ分離ス</p>
3 6 歲	3 5 歲	3 4 歲
<p>二月福澤諭吉死ス</p> <p>四月今上陛下御誕生</p> <p>六月桂内閣成立ス。星亨殺害セラレ</p> <p>十二月日本赤十字社條令公布</p> <p>十一月李鴻章卒ス</p> <p>英女皇ウイクトリア崩ズ</p> <p>シベリア鐵道ウラヂオストツク迄開通</p>	<p>二月品川彌二郎薨ズ</p> <p>四月未成年者喫煙禁止法施行</p> <p>五月先帝御結婚</p> <p>七月五師團全部渡清</p> <p>九月政友會成立</p> <p>六月義和團匪各國公使館ヲ燒ク</p> <p>獨逸公使日本書記生ヲ殺ス</p>	<p>一月勝安房薨ズ</p> <p>二月東京大阪間長距離電話開始</p> <p>三月著作權法公布</p> <p>八月私立學校令公布</p> <p>十月小學校教育國庫補助法公布</p> <p>三月遼東半島租借地境界議定書成ル</p> <p>十一月露國浦鹽東洋語學校設置</p> <p>南阿戰爭</p> <p>ハイダノ平和會議</p>

2 5 6 6	2 5 6 5
3 9	3 8
午 丙	巳 乙
治 明	
1 9 0 6	1 9 0 5
<p>一月日露交戦中ニ付師會ヲ廢シ其ノ剩餘金一千圓ヲ以テ出征軍人家族慰撫ニ充テラル</p> <p>四月二十三日正善殿(現管長閣下)御生誕アリ</p> <p>一月十六日六月一日兩度天理教婦人會ヨリ傷病兵慰問ノコトアリ。六月各地教會ニ於テ天理教々師講習會第一期卒業式ヲ舉グ。七月十二日辻忠作氏歿。舊六月二日澤田善助氏歿</p> <p>十月四日追願並ニ教規規程認可願提出</p> <p>十月二十四日日露平和克復報告祭ヲ執行セラル</p> <p>十二月十二日東北地方饑饉ニツキ本部ヨリ宮城、岩手、福島ノ各縣ヘ義捐金寄贈セラル</p> <p>十二月十五日前管長ハ大阪ニ第四師團司令部凱旋ヲ歡迎セラル</p>	<p>一月日露交戦中ニ付師會ヲ廢シ其ノ剩餘金一千圓ヲ以テ出征軍人家族慰撫ニ充テラル</p> <p>四月二十三日正善殿(現管長閣下)御生誕アリ</p> <p>一月十六日六月一日兩度天理教婦人會ヨリ傷病兵慰問ノコトアリ。六月各地教會ニ於テ天理教々師講習會第一期卒業式ヲ舉グ。七月十二日辻忠作氏歿。舊六月二日澤田善助氏歿</p> <p>十月四日追願並ニ教規規程認可願提出</p> <p>十月二十四日日露平和克復報告祭ヲ執行セラル</p> <p>十二月十二日東北地方饑饉ニツキ本部ヨリ宮城、岩手、福島ノ各縣ヘ義捐金寄贈セラル</p> <p>十二月十五日前管長ハ大阪ニ第四師團司令部凱旋ヲ歡迎セラル</p>
<p>一月舞樂(神ノ御國)ノ制設ケラル</p> <p>二月十七日教祖二十年祭ヲ期トシ朝夕神拜ノ祝詞並ニ信徒參拜心得ヲ發布セラル</p> <p>二月十八日(舊正月二十五日)教祖二十年祭執行セラル、祭場ハ本部屋敷西北方ニ高サ七十二尺、二十間四面ノ春日式假齋場ヲ設ケ、前日コトニ教祖ノ御分靈ヲ奉還セラル、午前九時閣下ニハ本部員及部下教師五千人ヲ從ヘテ祭事ヲ行ハセラル</p> <p>全國ヨリ歸參スル信徒十萬餘、當日教祖ノ意志ヲ奉ジ山邊郡ノ貧民ヘ白米三十石ヲ施與シ赤十字社奈良支部ヘ三百圓、大日本武徳會奈良支部ヘ二百圓寄贈アリタリ、翌十九日(舊正月二十六日)春季大祭執行セラル。四月一日三十七八年戰役ノ功ニヨリ前管長閣下ハ勳六等瑞寶章ヲ授與セラル</p> <p>四月二十四日二十年祭假齋場ニ於テ日露戰役戰死者吊慰祭ヲ施行、縣下ノ遺族ニ菓子料トシテ五十錢宛贈ラル</p> <p>八月八日舞樂講習會ヲ開ク</p> <p>十一月六日全國ノ市長及關西各市小學校長ノ團體三百餘人本部ヘ來訪ス、假齋場ニテ一大宴會ヲ開キ紀念品ヲ贈ル</p> <p>十二月八日第四回獨立請願書提出</p>	<p>一月舞樂(神ノ御國)ノ制設ケラル</p> <p>二月十七日教祖二十年祭ヲ期トシ朝夕神拜ノ祝詞並ニ信徒參拜心得ヲ發布セラル</p> <p>二月十八日(舊正月二十五日)教祖二十年祭執行セラル、祭場ハ本部屋敷西北方ニ高サ七十二尺、二十間四面ノ春日式假齋場ヲ設ケ、前日コトニ教祖ノ御分靈ヲ奉還セラル、午前九時閣下ニハ本部員及部下教師五千人ヲ從ヘテ祭事ヲ行ハセラル</p> <p>全國ヨリ歸參スル信徒十萬餘、當日教祖ノ意志ヲ奉ジ山邊郡ノ貧民ヘ白米三十石ヲ施與シ赤十字社奈良支部ヘ三百圓、大日本武徳會奈良支部ヘ二百圓寄贈アリタリ、翌十九日(舊正月二十六日)春季大祭執行セラル。四月一日三十七八年戰役ノ功ニヨリ前管長閣下ハ勳六等瑞寶章ヲ授與セラル</p> <p>四月二十四日二十年祭假齋場ニ於テ日露戰役戰死者吊慰祭ヲ施行、縣下ノ遺族ニ菓子料トシテ五十錢宛贈ラル</p> <p>八月八日舞樂講習會ヲ開ク</p> <p>十一月六日全國ノ市長及關西各市小學校長ノ團體三百餘人本部ヘ來訪ス、假齋場ニテ一大宴會ヲ開キ紀念品ヲ贈ル</p> <p>十二月八日第四回獨立請願書提出</p>
41 歲	40 歲
<p>一月西園寺内閣成立</p> <p>三月朝香竹田兩宮御創立</p> <p>四月凱旋大觀兵式</p> <p>七月兒玉源太郎薨ズ</p> <p>加奈陀通商條約成ル</p> <p>八月關東都督府官制公布</p>	<p>一月旅順開城</p> <p>三月奉天占領</p> <p>五月日本海々戰</p> <p>七月樺太占領</p> <p>八月日英同盟擴張</p> <p>九月日露平和條約成ル</p>

2 5 6 4	2563	2 5 6 2
3 7	3 6	3 5
辰 甲	卯 癸	寅 壬
治 明		
1 9 0 4	1903	1 9 0 2
<p>一月日露交戦中ニ付師會ヲ廢シ其ノ剩餘金一千圓ヲ以テ出征軍人家族慰撫ニ充テラル</p> <p>四月二十三日正善殿(現管長閣下)御生誕アリ</p> <p>一月十六日六月一日兩度天理教婦人會ヨリ傷病兵慰問ノコトアリ。六月各地教會ニ於テ天理教々師講習會第一期卒業式ヲ舉グ。七月十二日辻忠作氏歿。舊六月二日澤田善助氏歿</p> <p>十月四日追願並ニ教規規程認可願提出</p> <p>十月二十四日日露平和克復報告祭ヲ執行セラル</p> <p>十二月十二日東北地方饑饉ニツキ本部ヨリ宮城、岩手、福島ノ各縣ヘ義捐金寄贈セラル</p> <p>十二月十五日前管長ハ大阪ニ第四師團司令部凱旋ヲ歡迎セラル</p>	<p>一月第二回獨立請願書提出</p> <p>四月天理教校第一期卒業式舉行セラル</p> <p>七月二十九日鴻田忠三郎氏歿ス</p> <p>八月十八日教師講習會ヲ本部ニ開カル</p> <p>九月教典編纂成リ講師講習會ヲ本部ニ開ク</p> <p>二月十日露國ニ對シ宣戰ノ詔勅下ルヤ部下一般ニ諭達ヲ發シ毎月一回戰爭勝利、兵士ノ健康祈願ノ祭典ヲ執行ス</p> <p>三月二十日日本部ニ於テ天理教々典講習會ヲ開催セラル</p> <p>四月金米糖ノ御供ヲ洗米ニ改メラル</p> <p>五月各地教會ニ於テ講師講習會開カレ松村氏本部派出員トシテ出張ス</p> <p>八月一日第三回獨立請願書提出</p> <p>八月七日第三回獨立請願書提出</p> <p>九月六日日本部神殿ニ於テ出征軍人戰死者招魂祭ヲ執行セラル</p> <p>九月十七日巡迴宣教規程設ケラル</p> <p>十二月釜山布教所ヲ設ク</p> <p>十二月十九日第四回獨立請願書提出</p>	<p>一月七日昨年ヨリ工事中ノ天理教校々合新築落成シ開校式ヲ舉行セラル</p> <p>舊三月六日中山善兵衛殿五十年祭執行セラル</p> <p>三月廿一日神道管長稻葉正善殿逝去セラル</p> <p>六月九日神道管長後任トシテ本多謙獲殿撰定ノ儀内務省ヨリ許可サル</p> <p>七月十日天理教會所取給條規ヲ制定發布全國ヲ十數區ニ分ツ</p> <p>九月三十日長女玉千代殿御誕生</p> <p>十一月六日賞勳局ヨリ北清事變ニ恤兵費内ヘ金二千圓寄附セシニヨリ銀盃一組下賜セラル</p>
39 歲	38 歲	37 歲
<p>二月旅順及仁川ノ戰</p> <p>露國對ノ宣戰勅下ル</p> <p>五月英米ニ公債募集</p> <p>南山ノ戰</p> <p>六月得利寺ノ戰</p> <p>滿洲軍總司令部設置</p> <p>八月黄海及蔚山沖ノ戰</p> <p>日韓協約成ル</p> <p>九月遼陽ノ占領</p> <p>十月沙河ノ會戰</p> <p>十一月二百三高地占領</p> <p>キエリ一夫婦ヲチニムツ發見ス</p> <p>バルチツク鐵路東敷發見</p>	<p>三月專門學校令公布</p> <p>十二月衆議院解散</p> <p>五月支那日本ノ郵便條約成ル</p>	<p>一月日英同盟成ル</p> <p>五月皇室誕生令成ル</p> <p>七月西郷從道薨ズ</p>

2 5 7 0	2 5 6 9
4 3 戊 庚	4 2 酉 己
治 明	
1 9 1 0	1 9 0 9
<p>一月九日天理教養徳院ヲ設立スベク發表セラル</p> <p>一月十五日天理中學校文部大臣ヨリ認定セラル</p> <p>一月二十七日養徳院建築落成ス</p> <p>一月二十九日從來ノ婦人會ハ各教會分立ノ委ナリシヲ統一シ全天理教婦人會トシテ創立セラル</p> <p>二月二十七日中山秀司氏同夫人松枝殿三十年祭舉行セラル</p> <p>三月二十七日天理中學校第一回卒業式ヲ舉行セラル</p> <p>五月二十八日日本神廟ニ於テ假神殿起工式舉行セラル</p> <p>六月二十五日船場教會ノ手ニヨリ英國布教傳道開始セラル</p> <p>七月一日榊井伊三郎氏歿ス</p> <p>八月六日教會組合規程ヲ廢止シ新ニ教務支應規程ヲ設ク</p> <p>八月二十九日韓合併奉告執行</p> <p>十一月一日海外布教規定發布セラル</p> <p>十二月十五日上田繪太郎氏浪華宣教師ヲ起ス</p>	<p>二月十四日天理教校別科第一回卒業式舉行セラル</p> <p>二月十九日(舊一月廿九日)午前十一時ヨリ本部獨立奉告祭執行セラル</p> <p>三月二十六日山本勉氏江戶宣教師ヲ起ス</p> <p>三月二十九日柏木武助氏豐樂宣教師ヲ起ス</p> <p>四月二十三日松村氏ハ教務視察ノタメ渡鮮セラル</p> <p>五月廿一日神道本局ニ於テ本教獨立ノタメ分離奉告祭執行セラル</p> <p>七月各地各教會ニ於テ戊申詔書講演會開催セラル</p> <p>十月十日河原町大教會長深谷徳治郎氏歿ス</p> <p>十一月二十六日松村吉太郎氏朝鮮宣教師ヲ起ス</p> <p>十二月九日從來一般教會ニ於テ行ハレタル節會ヲ廢シ本部ノミ執行セラル、コト、ナル</p>
45 歳	44 歳
<p>三月佐々木高行薨ズ</p> <p>皇族身位令皇室親族令公布</p> <p>八月日韓併合條約成立</p> <p>十二月東北大學及九州大學官制公布</p> <p>英皇エドワード七世崩ジヨージ五世嗣</p> <p>十一月露國文豪トルストイ死ス</p>	<p>六月獨逸ハインリツヒ親王來遊</p> <p>十月伊藤博文殺害セラル</p> <p>英國キツチナリ元帥入京</p> <p>二月上海ニテ萬國阿片會議開設</p> <p>二月露國協約(モロツコ問題)</p> <p>北米合衆國西部ノ排日運動</p> <p>米國滿洲鐵道共同經營ヲ提議ス</p> <p>ベルギーコンゴ自由國ヲ合併ス</p>

2 5 6 8	2 5 6 7
4 1 申 戊	4 0 未 丁
治 明	
1 9 0 8	1 9 0 7
<p>一月十六日文部省告示第七號ヲ以テ天理中學校開校許可セラル</p> <p>二月十三日德森乘人氏歿ス</p> <p>三月二十日第五回獨立請願提出セラル</p> <p>四月天理中學校開校セラル</p> <p>五月以降各地ニ教會組合事務所設置サル</p> <p>九月二十四日松村氏ヲ以テ韓國布教管理者トナスコトヲ副統監ヨリ許可セラル</p> <p>九月二十六日天理教校別科ヲ開設シテ教師養成ノ專門學校トス</p> <p>十一月十一日明治天皇陸軍特別大演習御統監ノ御爲耳成山ニ行幸アラセラレレルニツキ教師五千餘名丹波市驛ニ奉迎ス</p> <p>十一月二十四日茶谷佐平氏泉支教會ヲ起ス</p> <p>十一月二十七日内務大臣ヨリ本教ノ一派獨立ヲ許可セラル</p> <p>十一月二十八日天理教總本部ニ設ケラル</p> <p>十一月二十八日内務大臣ヨリ天理教管長就職認可令アリ</p> <p>十一月廿九日寺田留吉氏網島支教會ヲ設置ス</p> <p>十一月卅日日本教一派獨立セシニ付各部下ニ名稱改稱ノ通達ヲ發シ又一般教師ニハ本部ヨリ改メテ辭令交付セラル</p> <p>十二月一日天理教々規及規程制定發布セラル</p> <p>十二月四日國學院大學長正二位勳一等伯爵佐々木高行氏ヨリ前管長ヲ同大學顧問ニ嚙托セラル</p>	<p>三月二十八日寺田半兵衛氏歿</p> <p>四月二十日神道天理教會規則及ビ規程制定、五月四日全國神道者大會東京錦輝館ニ於テ開會セラル</p> <p>六月九日(舊四月二十九日)教祖第一ノ高弟飯降本席翁薨後御歸國御年七十五歳、十五日豊田山ノ墓所ニ葬ル、平素其徳ヲ仰ギ涙ナガラ來リ送ル者二萬以上ニ及ブ</p> <p>六月十七日日本部員兼郡山大教會長平野精造氏歿ス</p> <p>八月九日ヨリ十日マデ第二回講義講習會開催セラル</p> <p>九月組合事務所開設セラル</p> <p>十月十日ヨリ北海道ヨリ東北日ヨリ近畿地方へ、板倉氏ハ十月十四日ヨリ北海道ヨリ東北地方へ、山中氏ハ十七日ヨリ關西地方へ、喜多氏ハ同日九州日京都和歌山地方へ、榊井氏ハ同日四國地方へ、諸井氏ハ同日中國地方へ各出張セラル</p> <p>十月三十日教師式服制定セラル</p>
43 歳	42 歳
<p>四月有栖川宮裁仁親王薨ズ</p> <p>日米仲裁々判條約成立</p> <p>七月桂内閣成立</p> <p>十月戊申詔書下ル</p> <p>野津道貫復本武揚薨ズ</p> <p>十一月米國トノ外交文書交換</p>	<p>三月東京勸業博覽會開設</p> <p>六月日佛協約成立</p> <p>七月日韓協約及日露協約成立</p> <p>十一月宮内省官制公布</p> <p>六月第二回平和會議萬國赤十字會議</p>

2 5 7 2	2 5 7 1
正 大 4 5	4 4
子 壬	亥 辛
帝 先 治 明	治 明
1 9 1 2	1 9 1 1
<p>一月十三日奈其教務支應改築落成ス 三月此頃各教會ヨリ寄附ノ本部神殿用ノ巨材地場ニ到着ス 三月十一日本部員東大教會長上原佐助氏歿ス 四月岡山教務支應新築落成ス 七月二十一日明治天皇御不例ニツキ本部ハ部下ヘ諭達ヲ發シ御平癒祈禱ヲ執行ス 七月三十日明治天皇崩御遊バサレシニツキ本部ニ於テハ臨時遷拜所ヲ設ケ翌三十一日崩御奉告新帝御踐祚奉告ノ儀行ハル 九月十三日御大葬當日ナレバ本部ニ於テ遷拜式舉行セラル 十月八日假本殿ノ主柱式舉行セラル 十月二十日同假本殿上棟式舉行セラル</p>	<p>一月二十七日天理教婦人會第一回總會開催セラル 一月二十九日本部員兼高知大教會長島村菊太郎氏歿ス 四月八日教總東京出張所並ニ東京教務支應落成ス、松村氏支應長タリ。四月廿四日假神殿落成増野氏齋主ノ下ニ午後九時ヨリ御遷座式舉行、翌二十五日松村氏ヲ齋主トシテ御遷座祭執行セラル。四月二十八日御本席五年祭本部假神殿左側ニ靈殿ヲ設ケテ執行セラル。五月卅一日朝鮮布教管理所設立セラ ル(京城)。七月二日奈其教務支應移轉ス 九月一日朝鮮布教規程及ビ朝鮮布教管理所規定發布セラル 九月十日天理教校々舎ヲ鎌子山ニ新築セラル 九月十七日船場教會大教會ニ昇格ス 九月廿七日前管長ニハ前年四月以來御疾患ニ罹ラセラレシモ頃日御快癒セラレシニヨリ本部ニ於テ本復奉謝祭執行セラル 十月二十七日假本殿建築着手起工式執行セラル 十二月八日和歌山教務支應新築落成ス 十二月九日從來松村氏東京教務支應長ナリシガ用務多忙ノタメ其ノ職ヲ退キ梶本宗太郎氏後任トナル</p>
4 7 歳	4 6 歳
<p>七月三十日明治天皇崩御(御壽六十一)先帝踐祚 七月三十日以後ヲ大正元年ト改メラル 七月三十一日朝見式舉行 八月臨時議會召集 九月乃木希典薨ズ 一月孫逸仙南京ニテ大統領就任ヲ宣誓ス。三月袁世凱大統領就任宣誓式ヲ舉行ス。唐紹儀總理トナル。モロツコ佛國ノ保護國トナル。バルカン戰爭 十月ギリシヤ、ブルガリア、セルビア、モンテネグロノ四國聯合シテ各トルコニ宣戰ス</p>	<p>五月日英通商航海條約公布 谷千城薨ズ 六月大島圭介薨ズ 帝國外十三國會社互認協約公布 十一月小村壽太郎薨ズ 黃興大元帥ニ推サレ孫逸仙大統領當選 九月伊土開戰 ノルウェー人アムンドゼン南極ヲ發見ス</p>

2 5 7 4	2 5 7 3
3	2
寅 甲	丑 癸
帝 先	
1 9 1 4	1 9 1 3
<p>一月アメリカ布教開始セラル 四月岡山教務支應新築落成ス 四月教祖殿新築落成ス 四月十一日照憲皇太后陛下御崩御ニ付部下ニ通達ヲ發スルト共ニ本部ニ於テ遷拜式舉行セラル 四月二十四日假本殿落成セシモ諒閣中ニ付キ略遷座式執行セラル(一般信徒ヲ參拜セシメズ) 八月二十七日從來本部組置殿ニハ本部ニ關係アリシ人々ノ靈ノミ記ラレシヲ今後一般教員信徒ノ靈ヲ合祀シ毎年三月二十七日及ビ九月二十七日ハ其ノ靈祭ヲ行フコトニ定メラル 九月五日日獨戰爭ニ付軍資金トシテ一萬圓恤兵部ニ獻納セラ ル 九月九日天理教婦人會ニ於テ時局ニ鑑ミ慰問袋ヲ製作シテ出征軍人ヲ輸ラハル 十一月二十一日本部員増野正兵衛氏歿ス 十二月三十一日初代管長閣下御歸國 初冬ノ頃ヨリ前管長閣下御心地御不快氣ニ在ラセラレシガ十二月三十日夜ニ到リ病勢俄カニ變ジ御容態只ナラズ一同ノ憂愁其ノ極ニ達ス翌三十一日眠ルガ如ク御歸國遊バサル時正ニ午後二時半席ニ列スル者何レモ悲痛哀悼爲ニナス所ヲ知ラザル有様ナリ</p>	<p>五月十日英人デビソン氏夫妻英京ロンドン布教ノ途ニツク 六月二十六日婦人會會長中山玉惠殿ヨリ部下單獨布教者ヘ布教資金補助金ヲ贈與セラル 八月十五日教祖殿上棟式舉行セラル 九月天理教滿洲布教管理所規程發布セラル 十一月一日堺分教會會ニ昇格ス 十一月二十三日天理教滿洲布教管理所新設セラル 十二月二十五日假本殿落成ス</p>
4 9 歳 (現管長閣下 等ニ前年十歳)	4 8 歳
<p>一月鹿兒島櫻島噴火 海軍收賄問題起ル 四月昭憲皇太后陛下崩御 大隈内閣成立 八月對獨宣戰ノ勅下ル 日獨國交斷絶 十月我が軍ヤルト島占領 十一月我が軍青島占領 七月歐洲大戰起ル(六月廿八日 埃洪國皇太子夫婦暗殺セラル) 埃洪國塞國ト開戰 八月パナマ運河開通 八月一日露獨ノ開戰 二日佛獨開戰 三日佛獨開戰 四日獨軍白國ニ入ル 同日英獨開戰 八日露埃洪國ト開戰 十二日英佛埃洪國ト開戰 二十三日日獨開戰 十月土國埃獨ニ加盟</p>	<p>九月東北帝國大學開校 加州排日土地法通過 六月獨逸軍備大擴張案通過 列強相次イデ各軍備擴張案通過</p>

2 5 8 0	2 5 7 9	2 5 7 8
9	8	7
甲 庚	未 己	午 戊
帝 先		
1 9 2 0	1 9 1 9	1 9 1 8
<p>一月七日松田元治郎氏歿ス</p> <p>一月二十七日秀司殿及比同夫人松枝子殿四十年祭執行セラル</p> <p>二月二十四日教學部新設セラル</p> <p>三月十六日天理教會本部財團法人設立認可セラル</p> <p>四月二十五日天理女學校開校式舉行セラル</p> <p>九月二十三日生野分教會北大教會ヨリ分離ス</p> <p>十月二日現管長令姉玉千代殿御分家ノ上山澤爲信氏ト結婚式ヲ舉ゲラル</p>	<p>一月二十五日婦人會役員會ニ於テ天理女學校設立ノ件議決セラル</p> <p>一月二十七日天理教青年會發會式舉行セラル</p> <p>五月二十九日日本部員梅谷四郎兵衛氏歿ス</p> <p>九月二十一日女學校敷地均シ工事着手</p> <p>十一月一日同校建築手斧始式舉行セラル</p> <p>十一月八日日本部員津大教會長井筒五三郎氏歿ス</p> <p>十一月九日大阪教務支廳落成式舉行セラル</p>	<p>二月十五日茨木基敬氏(北大教會長)免職トナリ山中彦七氏はレニ代ル</p> <p>三月二十六日管長閣下三島尋常小學校御卒業聖四月天理中學校へ御入學遊バサル</p> <p>五月二十七日御津分教會ハ教會ニ昇格ス</p> <p>六月二十二日日本部員諸井國三郎氏歿ス</p> <p>六月二十七日日本部員松田晋次郎氏歿ス</p> <p>七月ヨリ八月ヘカケテ管長閣下ハ御母堂様及松村氏其他ヲ從ヘテ東北及北海道地方ヘ四十日間ノ巡教ヲ遊バサル</p> <p>十二月二十八日故管長閣下五年祭執行</p>
1 6 歳	1 5 歳	1 4 歳
<p>一月世界平和克復ノ大詔下ル</p> <p>三月ニコライエフスクニテ日本人露兵ニ慘殺セラル(五月二十四日ニ互リ七百八人)</p> <p>八月英國埃及ノ獨立ヲ承認ス</p> <p>十一月ハーディング米國大統領當選。米國加州排日案一般投票大多數ニテ通過。ジュネーブニ於テ國際聯盟第一回總會開會</p>	<p>五月日支條約調印。九月井上馨薨ズ。五月伊埃開戰。八月ローマ法王交戰國ニ講和ヲ勸告ス。ソルソー陥落。九月英佛露軍獨不講和ヲ約シ十一月日伊加入。十月ブルガリア獨埃ニ加入。獨埃軍ベルグラード占領。十二月聯合軍事會議ヲパリニ開催。三月ウイツテ死ス。四月英國宮中ノ禁酒</p>	<p>八月米騒動京都、大阪、神戸其他ニ起ル。穀物收容令公布</p> <p>一月二十一日獨軍西部戰線ニ大攻撃開始。フオシニ將軍西部戰ノ英佛軍總司令官トナル</p> <p>八月獨軍總退却</p> <p>九月埃全交戰國ニ講和ヲ提議ス</p> <p>三月露ノ過激政府モスコニ遷ル</p> <p>七月一八月ロシヤ廢帝銃殺</p>

2577	2 5 7 6	2 5 7 5
6	5	4
巳 丁	辰 丙	卯 乙
帝 先		
1917	1 9 1 6	1 9 1 5
<p>一月二十六日雜誌三才創刊</p> <p>三月三日大阪控訴院ニ於テ松村氏無罪ノ判決アリ</p> <p>四月二十日臺灣本島人三十名地場ニ歸ル</p> <p>七月七日郡山大教會敷地建物賣買ニ附セラル</p> <p>八月八日右債權者會議負債額約二十八萬圓ト云フ</p> <p>十月二十八日獨立十周年記念祭執行サル</p> <p>十一月十一日本部員喜多治郎吉氏歿ス</p>	<p>一月十日管長閣下邸落成ス</p> <p>一月十九日中河教會大教會ニ昇格ス</p> <p>一月二十五日教祖三十年祭執行サレ假神殿ノ側ニ祭壇ヲ設ク</p> <p>全國ヨリ集マル信徒十五萬ニ及ブ</p> <p>三月一日大縣分教會ハ教會ニ昇格ス</p> <p>三月十八日松村吉太郎氏保釋出獄歸宅セラル</p> <p>四月二十七日御本席十年祭執行サル</p> <p>八月二十一日日本部員山田伊八郎氏歿ス</p>	<p>一月八日前管長閣下葬儀執行セラル</p> <p>一月二十一日中山正善殿管長變職、山澤氏管長職務執行ノ件文部大臣ヨリ認可セラル</p> <p>一月二十五日管長變職及ビ職務執行者就任奉告祭執行セラル</p> <p>一月二十七日教師ノ教費金免除セラル</p> <p>一月二十七日故管長ノ思召ニヨリ單獨布教者ニ金圓ヲ贈ラル</p> <p>四月二十五日假本殿落成祝祭執行セラル</p> <p>六月二十七日松村吉太郎氏入監</p> <p>十二月二十四日城法分教會教會ニ昇格ス</p> <p>十二月二十八日故管長閣下一年祭執行セラル</p>
1 3 歳	1 2 歳	1 1 歳 <small>(コレヨリ現管長ス)</small>
<p>六月臨時外交調査委員會設置</p> <p>八月支那獨埃ニ宣戰。十二月米埃ニ宣戰。三月露國革命勃發、新政府成立皇帝幽閉新政府首領リウオフ公辭職ケレンスキニ代ル。十一月ケレンスキニ政府外レ、レーニンノ過激政府代ル</p>	<p>十一月今上立太子ノ大禮ヲ行ヒ給フ。六月袁世凱卒ス。黎元洪大統領トナル。段祺瑞内閣組織</p> <p>二月獨軍ヴェルダン大攻撃開始</p> <p>三月獨軍ニ宣戰。五月北海ニ英獨大海戰。八月伊獨開戰。ルーマニア獨埃ニ宣戰。十一月波蘭獨立宣言。十二月ブルカレスト陷落。獨埃等聯合國ニ講和ヲ提議ヲナス。米大統領ウイソン交戰國ニ講和ノ通牒ヲ發ス。キツチナール元帥死ス</p>	<p>五月日支條約調印。九月井上馨薨ズ。五月伊埃開戰。八月ローマ法王交戰國ニ講和ヲ勸告ス。ソルソー陥落。九月英佛露軍獨不講和ヲ約シ十一月日伊加入。十月ブルガリア獨埃ニ加入。獨埃軍ベルグラード占領。十二月聯合軍事會議ヲパリニ開催。三月ウイツテ死ス。四月英國宮中ノ禁酒</p>

2584	2583	2582	2581
13	12	11	10
子甲	亥癸	戌壬	酉辛
帝先			
1924	1923	1922	1821
二月二十二日 敬島大教會長山田倉之助氏歿ス 十月十日 四十年祭提唱ノ論連發表セラル	二月三日 吉川萬次郎(白々樓)氏歿ス。三月六日 支那長ノ大更迭ヲ發表スル。四月一日 大阪丹波市間ノ電車開通ス。五月十三日 天理教職員間ニ於テ本教々義及ヒ史實研究ノ目的ヲ以テ六踏會ヲ組織ス。七月八日 出願中ノ天理女學校設立ノ件 鎌田文相ヨリ認可セラレ。九月二十一日 生野分教會教會ニ昇格ス。	三月 全國巡迴講習會開催セラル。三月五日 現管長閣下天理中學校ヲ御卒業遊バサル。四月 管長閣下大阪高等學校ニ御入學遊バサル。十月十七日 深谷源次郎氏歿ス。十一月二十三日 名京大教會(諸井忠彦) 山名大教會(諸井慶五郎)ヨリ分離ス。十一月二十八日 故管長閣下十年祭執行セラル	二月二十二日 敬島大教會長山田倉之助氏歿ス 十月十日 四十年祭提唱ノ論連發表セラル
一月 本部電氣部ヲ特設セラル。二月 昨年五月ヨリ工事中ノ新別席場六棟成ル。三月 一日 教校内ニ研究科設立サル。四月 二十六日 三才社同人、道友社關係者及數名ノ大教會長ニヨツテ地場思潮社組織サレ雑誌地場思潮創刊號出ヅ。六月三日 天理高女庭球選手小林、鴨井ニ女ハ全日本女子庭球選手權大會(東京)ニ於テダブル選手權ヲ獲得ス。六月二十九日 中和教會大教會ニ昇格ス。七月二十七日 小寒子殿五十年祭執行セラル。十月 ローマ宗教博覽會ヘ本教ヨリ活動フィルム天理教三卷及ビ教師服式服其他參考品ヲ出品セラル。十一月 三十日 天理専用電話開通セリ	三月 全國巡迴講習會開催セラル。三月五日 現管長閣下天理中學校ヲ御卒業遊バサル。四月 管長閣下大阪高等學校ニ御入學遊バサル。十月十七日 深谷源次郎氏歿ス。十一月二十三日 名京大教會(諸井忠彦) 山名大教會(諸井慶五郎)ヨリ分離ス。十一月二十八日 故管長閣下十年祭執行セラル	三月 全國巡迴講習會開催セラル。三月五日 現管長閣下天理中學校ヲ御卒業遊バサル。四月 管長閣下大阪高等學校ニ御入學遊バサル。十月十七日 深谷源次郎氏歿ス。十一月二十三日 名京大教會(諸井忠彦) 山名大教會(諸井慶五郎)ヨリ分離ス。十一月二十八日 故管長閣下十年祭執行セラル	二月二十二日 敬島大教會長山田倉之助氏歿ス 十月十日 四十年祭提唱ノ論連發表セラル
20歳	19歳	18歳	17歳
一月 旅順防備隊令廢止 二月 公卿諸侯稱ヲ廢シ華族ト改ムル件廢止公布 三月 東京府下日暮里一千七百餘戸燒失 東京放送局開所式舉行 治安維持法案及ビ衆議普選案貴族院改革案議會通過ス 十月 東本願寺ハ限定相續ニ付テ大願授ヲ起ス 孫傳芳氏ハ五省聯合軍ヲ以テ十六日 張作霖討伐ヲ策シ支那又動亂ス 五月二十三日 午前十一時過ギ北但地方ニ大震災起ル	九月一日 關東大震災燒失戸凡ソ四十萬非常發令戒嚴令各公布 帝都復興ノ詔發。十一月 國民精神作興ニ關スル詔書發。十二月 廿日 事件判決。兇漢攝政宮殿下ハ杖銃ヲ發射シ奉ル。八月 米國大統領ハーヂング死ス。九月 第四回國際聯盟總會 皇太子殿下御成婚ノ儀終了。六月 印度詩聖タゴール東京ニ來ルメイトル法實施。費澤品輸入稅增加公布。九月 支那動亂中立不干涉聲明。一月 レーニン死。二月 ウィルソン死。四月 米國ノ排日移民法案上下兩院ヲ通過ス。七月 一日 米國ノ排日移民法ノ實施。	一月 大隈重信侯薨ズ。二月 山縣有朋公薨ズ。四月 十二日 英國皇太子御入京。皇太子裕仁親王殿下久通宮眞子女王殿下ト婚約セラル。二月 埃及獨立王國トナル	三月 皇太子殿下海外巡遊御出發郡制廢止公布。八月 我が國全人員發表、五五九六三〇五三人。九月 皇太子殿下御歸朝。十一月 內閣總理大臣原敬暗殺セラレ、高橋是清之ニ代ル。皇太子裕仁親王殿下攝政ニ任セラレ給フ

2585	14	丑乙	帝先	1925
二月十七日 天理外國語學校設立認可サル 二月十七日 奈良真直學校ヲ本教ノ施設ニ移管ス 二月十九日 日本郵船場大教會長梅谷梅次郎氏歿ス 三月二日 天理託兒所開設セラル 三月二日 豊岡分教會北大教會ヨリ分離ス 三月三十日 豊岡分教會治道教會ヨリ分離ス 四月一日 肥長分教會治道教會ヨリ分離ス 四月十日 天理教々義及ヒ史料編纂委員任命セラル 四月十日 幼稚園開園サル 四月十九日 奈良教務支廳落成奉告祭執行 四月二十一日 名東分教會差養ヨリ分離ノ上教會ニ昇格ス 四月二十三日 管長就職報告祭執行サル 四月二十五日 天理小學校開校式舉行サル 五月六日 正午天理高女庭球選手藤本八重子嬢ハ日本女子庭球選手ヲ代表シテ極東オリムピック大會出場ノタメ神戸ヨリマニラヘ出發ス同二十三日 日度ケ優勝ス 五月中旬 四十年祭々場建築開始サル 五月三十日 北但地方大震災ニツキ外語生六十名ひのきしんニ行ク 六月四日 未明マニラヘ遠征シタ天理高女ノ藤本嬢神戸ニ上陸歸校ス 六月二十三日 岡山分教會北大教會ヨリ分離ス 八月二十六日 天理教々職制發表セラル 九月十一日 飾東分教會兵神大教會ヨリ分離ノ上教會ニ昇格ス 九月十一日 八木分教會教會ニ昇格ス 九月二十三日 府内分教會北大教會ヨリ分離ス 十一月 中旬 臨時停車場ノ工事ニ着手サル、十二月末 竣成 十二月 下旬 假祭場竣成ス、南北三十五間東西二十八間疊敷一千八百枚 十二月 下旬 天理教廳印刷所竣成ス	21歳	一月 旅順防備隊令廢止 二月 公卿諸侯稱ヲ廢シ華族ト改ムル件廢止公布 三月 東京府下日暮里一千七百餘戸燒失 東京放送局開所式舉行 治安維持法案及ビ衆議普選案貴族院改革案議會通過ス 十月 東本願寺ハ限定相續ニ付テ大願授ヲ起ス 孫傳芳氏ハ五省聯合軍ヲ以テ十六日 張作霖討伐ヲ策シ支那又動亂ス 五月二十三日 午前十一時過ギ北但地方ニ大震災起ル		

2 5 8 6
1 5
寅 丙
帝 先
1 9 2 6

一月五、六、七、八ノ四日間例年ノ通り節會執行。
一月九日臨時救護班ヲ組織シ九ヶ所ノ救護所ニ醫師一名看護婦十名擔夫六名八時間交代トシテ十日ヨリ執務開始。一月十日四十年祭ニ付テノ臨時本部役割確定豫寫發表。總務部(山澤爲造、松村吉太郎、山中彦七、板倉健三郎、梶本宗太郎)。祭典係。教義係。會計係。事務係。整理係。警備係。信徒詰所係。記録係。新聞記者係。記念品係。輸送係。救護係。炊事係。管長邸支關係。印刷所係。購買組合係。道友社係。教祖墓地係。一月十一日ヨリ團體輪送開始。一月十二日天理教校、外語、中學(三年以上)ノ各生徒八百人ヲ以テ臨時警備隊ヲ組織シ中山本部員ヲ係長トシテ十ヶ所ノ要所ニ警備所ヲ置キ二十八日迄晝夜御地場一圓ヲ警戒ス。尙此ノ外奈良縣警備隊デハ十日ヨリ二十六日迄約百六十名ノ巡查隊ヲ組織シ十一ヶ所ノ屯所ヲ設ケ協力シテ交通整理、救護、防火、犯罪豫防ノ任ニ當レリ。一月十三日ヨリ二十七日正午迄天理教校ハ四十年祭記念史料展覽會ヲ催ス、入場者無慮七萬人。一月十四日午後八時ヨリ本部各通用門全部閉鎖シ本部在勤者家族(四九六)ノ通行ノミヲ許サル。午後十時ヨリ教祖殿ニ於テ遷座式執行、續ヒテ假齋殿ニ於テ鎮座祭執行。
一月十五日道友社ヨリ日刊新聞四十年祭時報ヲ三十日迄發行

2 2 歲

一月内閣總理大臣加藤高明薨ズ
若槻禮次郎首相トナル
三月松島遊廓事件議會ニ出ヅ
陸軍機密費問題衆議院本會議ニ出ヅ
四月憲政會箕浦勝人氏松島遊廓事件ニツキ召喚セラレ
五月文部省ハ十四日宗教制度調査會ヲ設置シ該法案ヲ審議セシム
四月米國キリスト教組合教會ハ日本ヘノ宣教師派遣ヲ中止シ補充セヌ方針ヲ執ル
聖德太子奉養會ハ太子千三百五年ノ大法要ヲ營ム
七月一日青年訓練所ヲ全國町村ニ開所ス
五月ゼネバニ於テ國際労働會議第八回總會開催
英國炭鐵夫總同盟罷業、其數二百五十萬人、損害大約十二億萬圓

2 5 8 6
1 5
寅 丙
帝 先
1 9 2 6

此ノ日空ニハ絶間ナク烟火ヲ打上ゲラレ式典中大阪毎日及ビ遠藤櫻ノ二臺ノ飛行機地場ノ上空ヲ幾旋回ス、境内ノ參拜者十數萬人。一月十六日朝祭典御供餅ヲ各教會(一重(二合)ツ、下附(其ノ石數二十石六斗)。第一次祭典參拜者無慮二十餘萬人ハボギー車十八輛ノ日本鐵道開始以來ノ長イ列車ニヨリテ歸途ヲ急グ。午後一時ヨリ教祖殿ニ於テ青年會ハ四十年祭記念大講演會ヲ催ス。婦人會ハ女學校講堂ニ於テ同ジク大講演會開催。一月十八日第二次參拜ノ團體列車長蛇ノ列ヲ作ツテ丹波市假停車場ニ集合ス。午前十一時ヨリ天理教館ニ於テ天理教々廳印刷所落成式舉行セラレ。一月二十日第二次祭典ノ模様ハ第一次祭典ト大差ナシ。式終了ハ午後一時三十分。教祖墓地ハ第一次ノ日ト同ジク午前九時頃ヨリ十一時過ギマデハ麓ヨリ頂キマデ歸參ノ信徒雲集シテ一步モ進メズ退ケザル有様。一月二十五日第三次祭典ハ第一次祭典ニ同ジ。梶本繪次郎、諸井慶五郎二氏本部役員ニ任命セラレ。午後八時前回遷座祭ト同ジク本部各門ヲ閉シテ一般通行ヲ禁ズ、午後十時ヨリ假齋殿ニ於テ遷座式執行、續イテ教祖殿ニ於テ鎮座祭執行。本部在勤者ニ昇級辭令及記念品(盃)ヲ管長邸ニ於テ下附。朝鮮總督府ガ天理教ノ實勢力視察ノ爲特派シタル其ノ宗教課長ハ此ノ日第三次祭典ヲ拜シタ
一月二十六日午前九時ヨリ春季大祭執行、式後舞樂、神樂勤アリ、十二時過終了。午後二時ヨリ東講堂ニ於テ管長閣下ニハ御母堂櫻其ノ他諸員ヲ隨ヘ部下各教會數ノ一割ノ率ノ各教會長ニ御挨拶ヲ給セテ四十年祭ニ對スル永年ノ奮闘ヲ謝セラレ續イテ一般教師ニ對スル昇級辭令四萬人分及ビ記念杯ヲ同ジク東講堂ニ於テ下附セラレ。二十七日午後二時年祭歸參ノ朝鮮人百五十餘名ハ天理中學玄關前ニテ記念撮影ヲ爲シ二時半ヨリ管長閣下ハ其ノ講堂ニ於テ内鮮人懇談會ヲ催サル
一月二十八日午前九時ヨリ天理外國語學校運動場ニ於テ天理教々廳教學部主催所管各學校聯合大運動會開催

2 2 歲

2587	2586	2586
2 卯丁	和 昭 寅 丙	1 5 寅 丙
	上 今	帝 先
1927	1926	1926
一月一日廢朝明ケトナリタルヲ以テ例年ノ通り神前ニテ新年式ヲ行フ。恒例ノ各教會ヨリ神饌トシテ饗餅ヲ供進スルコトハ變ラザレドモ先帝崩御諒中ナルヲ以テ節會ヲ中止シ饗餅ハ御供トシテ一般教會及村方ニ頒ツ 敷島大教會ヨリ雜誌「新興宗教」出ヅ 滿洲布教管理所ハ機關雜誌トシテ「滿洲」ヲ刊行セリ	朝夕殯殿遙拜ノ式ヲ行フ爲メ本部神前東廣場東南方ニ遙拜所ヲ設ケラル 沼津市大火ニツキ罹災民救恤ノ爲メ十二月十四日二百圓市宛ニテ寄附セラル 十二月廿五日先帝崩御ニツキ教廳ニ於テハ各教務支廳管理所及直轄教會宛左記ノ電報ヲ通達ス 「ハイチヨウチウ ナリモノゴエンリヨセヨ テンリ」 十二月廿五日夜管長閣下ハ松村、中山、喜多ノ三本部員ヲ隨ヘラレ天機奉伺ノ爲メ上京	
23 歳	22 歳	22 歳
一月一日ヨリ健康保險法實施 一月三日宮中櫻殿ニ於テ大行天皇御十日祭執行セラル 一月五日宮中ニ於テ殯宮移御ノ儀ヲ行ハセラル 御大喪議二月七、八日ト決定	十二月廿七日大行天皇御靈柩宮城ニ還御アラセラル大行天皇御陵墓地ハ東京府南多摩郡横山村ト決定十二月廿八日新帝陛下宮中正殿ニテ朝見ノ儀ヲ行ハセラレ優渥ナル勅語ヲ賜フ大喪使總裁ハ開院宮殿下ト御發表	十二月十一日御滯英中ノ秩父宮殿下ハ先帝陛下御不例ニツキ御歸國ト御決定 十二月廿四日先帝陛下御急變ニヨリ東宮同妃殿下ヲ始メ各宮殿下葉山御所ニ御參殿及ビ重臣等參集。攝政殿下ハ先帝陛下御不例ニツキ議會開院式行啓御取止メ大正十五年十二月廿五日午前一時廿五分葉山御用邸ニ於テ御崩御遊バサル(御壽四十八) 大正十五年十二月廿五日午前一時廿五分新天皇陛下御踐祚 大正十五年十二月二十五日以後「昭和」ト改元ス 廿五日及ビ以後五日間廢朝トナ

2586	2586	2586
1 5 寅 丙		1 5 寅 丙
帝 先		帝 先
1926		1926
一月二十九日午前十時ヨリ假齋場大廣間ニ於テ祭典中各部署ニ晝夜勤務シタル各係千八百人ニ對シ慰勞ノ饗宴ヲ備セラル(御酒六樽、米二石、午券三十貫、雜魚二十貫、昆布十三貫)及ビ全員ニ風呂敷一枚ヲ、下附セラル。一月三十一日四十年祭中(一月十日ヨリ同三十一日マデ)ノ授訓者二、八〇七名。初席者一〇、五二七名。二月八日部下教會教師ニ祭後ノ諭達ヲ發セラシ。二月十一日宮内省ヨリ天理美徳院ヘ其ノ事業御獎勵ノ思召ヲ以テ金貳百圓下賜サル。三月管長閣下ハ大阪高等學校御卒業。コノ上旬ヨリ婦人會本部役員ハ全國各地ノ教會ヘ巡回講演ニ出張、神繩臺灣ヘノ巡教ハ本部トシテ之レヲ以テ始メトス。三月六日天理外國語學校敷地地鎮祭行ハル。三月二十七日四十年祭假齋場取壊ヲ着手。四月管長閣下ハ東京帝國大學文學科ニ御入學宗教學ヲ專攻セラル。青年會ハ一組三人ノ六組ヲ編成シ全國各都市ヘ巡回講習會ヲ行フ。五月二十七日午前九時ヨリ本席飯降伊藤先生二十年祭ヲ執行セラル。六月八日神道本局主催、神道側宗教案調査委員會ニ本教ノ委員トシテ増野道興、諸井慶五郎、三橋要也、三氏非公式ニ任命セラル。六月二十九日奈良縣知事ヨリ私立天理教青年團練所設置ヲ認可セラル。七月一日ヨリ開所 七月二十七日ヨリ三日間一般教會長大講習會第一回ヲ第二回ハ八月二日ヨリ三日間開催。八月十日ヨリ管長閣下ハ從者八名ト共ニ鮮滿支ヘ約一ヶ月ノ視察旅行ヲセラル。二十三日午前七時ハルビン御着。九月二日午前十一時十分北京御着。九月十二日午前十一時半天理歸着 十月二十七日天理教館ニ於テ青年會第八回總會開催 十月二十八日天理外國語學校廣場テント張内ニ於テ外語新築落成式舉行セラル。招待客一、七〇〇名 同日教廳管下各校聯合大運動會開催 十二月二日午後一時ヨリ本部ニ於テ先帝陛下御平癒祈願祭執行セラル		一月二十九日午前十時ヨリ假齋場大廣間ニ於テ祭典中各部署ニ晝夜勤務シタル各係千八百人ニ對シ慰勞ノ饗宴ヲ備セラル(御酒六樽、米二石、午券三十貫、雜魚二十貫、昆布十三貫)及ビ全員ニ風呂敷一枚ヲ、下附セラル。一月三十一日四十年祭中(一月十日ヨリ同三十一日マデ)ノ授訓者二、八〇七名。初席者一〇、五二七名。二月八日部下教會教師ニ祭後ノ諭達ヲ發セラシ。二月十一日宮内省ヨリ天理美徳院ヘ其ノ事業御獎勵ノ思召ヲ以テ金貳百圓下賜サル。三月管長閣下ハ大阪高等學校御卒業。コノ上旬ヨリ婦人會本部役員ハ全國各地ノ教會ヘ巡回講演ニ出張、神繩臺灣ヘノ巡教ハ本部トシテ之レヲ以テ始メトス。三月六日天理外國語學校敷地地鎮祭行ハル。三月二十七日四十年祭假齋場取壊ヲ着手。四月管長閣下ハ東京帝國大學文學科ニ御入學宗教學ヲ專攻セラル。青年會ハ一組三人ノ六組ヲ編成シ全國各都市ヘ巡回講習會ヲ行フ。五月二十七日午前九時ヨリ本席飯降伊藤先生二十年祭ヲ執行セラル。六月八日神道本局主催、神道側宗教案調査委員會ニ本教ノ委員トシテ増野道興、諸井慶五郎、三橋要也、三氏非公式ニ任命セラル。六月二十九日奈良縣知事ヨリ私立天理教青年團練所設置ヲ認可セラル。七月一日ヨリ開所 七月二十七日ヨリ三日間一般教會長大講習會第一回ヲ第二回ハ八月二日ヨリ三日間開催。八月十日ヨリ管長閣下ハ從者八名ト共ニ鮮滿支ヘ約一ヶ月ノ視察旅行ヲセラル。二十三日午前七時ハルビン御着。九月二日午前十一時十分北京御着。九月十二日午前十一時半天理歸着 十月二十七日天理教館ニ於テ青年會第八回總會開催 十月二十八日天理外國語學校廣場テント張内ニ於テ外語新築落成式舉行セラル。招待客一、七〇〇名 同日教廳管下各校聯合大運動會開催 十二月二日午後一時ヨリ本部ニ於テ先帝陛下御平癒祈願祭執行セラル
22 歳		22 歳

昭和二年一月二十日印刷
昭和二年一月廿五日發行

定價金四十錢

不許
復製

奈良縣山邊郡丹波市町大字三島五四番地

編輯者 增野石次郎

奈良縣山邊郡丹波市町大字川原城三〇九番地

印刷所 天理教々廳印刷所

代表者 辻 豊彦

奈良縣山邊郡丹波市町大字三島五四番地

發行所 地場思潮社

終

